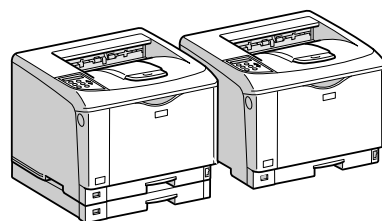
InfoPrint

1736J/1756J

ソフトウェアガイド

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ずプリンター本体同梱の『安全に正しくお使いいただくために』をお読みください。

はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
この使用説明書は、製品の正しい使い方や使用上の注意について記載してあります。ご使用の前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。

商標

- AppleTalk、Macintosh、TrueType は、米国および他の国々で登録された Apple Computer, Inc. の登録商標または商標です。
- BMLinkS は、社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会の登録商標です。
- EPSON、ESC/P は、セイコーエプソン株式会社の登録商標です。
- IBM、DOS/V は米国 IBM Corporation の登録商標です。
- Microsoft、Windows、WindowsNT、MS-DOS は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- NEC は、日本電気株式会社の登録商標です。
- NetWare は、米国 Novell, Inc. の登録商標です。
- PC-98NX シリーズは、日本電気株式会社の製品です。
- PC-PR201H シリーズは、日本電気株式会社の商標です。
- その他の製品名、名称は各社の商標または登録商標です。

・ *Windows® 95 の製品名は、Microsoft® Windows® 95 です。
・ *Windows® 98 の製品名は、Microsoft® Windows® 98 です。
・ *Windows® Me の製品名は、Microsoft® Windows® Millennium Edition (Windows Me) です。
・ *Windows® 2000 の製品名は以下のとおりです。
　Microsoft® Windows® 2000 Professional
　Microsoft® Windows® 2000 Server
　Microsoft® Windows® 2000 Advanced Server
・ *Windows® XP の製品名は以下のとおりです。
　Microsoft® Windows® XP Home Edition
　Microsoft® Windows® XP Professional
・ *Windows Server® 2003 の製品名は以下のとおりです。
　Microsoft® Windows Server® 2003 Standard Edition
　Microsoft® Windows Server® 2003 Enterprise Edition
　Microsoft® Windows Server® 2003 Web Edition
・ *Windows Server® 2003 R2 の製品名は以下のとおりです。
　Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Standard Edition
　Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Enterprise Edition
・ *Windows NT® 4.0 の製品名は以下のとおりです。
　Microsoft® Windows NT® Server 4.0
　Microsoft® Windows NT® Workstation 4.0

平成書体は、（財）日本規格協会と使用契約を締結し使用しているものです。他のフォントと同様、フォントとして無断複製することは禁止されています。

複製、印刷が禁止されているもの

本機を使って、何を複製、印刷してもよいとは限りません。法律により罰せられることもありますので、ご注意ください。

1.複製、印刷することが禁止されているもの
　（見本と書かれているものでも複製、印刷できない場合があります。）
　・紙幣、貨幣、銀行券、国債証券、地方債券など
　・日本や外国の郵便切手、印紙
　（関係法律）
　　・紙幣類似証券取締法
　　・通貨及証券模造取締法
　　・郵便切手類模造等取締法
　　・印紙等模造取締法
　　・（刑法 第１４８条 第１６２条）

2.不正に複製、印刷することが禁止されているもの
　・外国の紙幣、貨幣、銀行券
　・株券、手形、小切手などの有価証券
　・国や地方公共団体などの発行するパスポート、免許証、許可証、身分証明書などの文書または図画
　・個人、民間会社などの発行する定期券、回数券、通行券、食券など、権利や事実を証明する文書または図画
　（関係法律）
　　・刑法 第１４９条 第１５５条 第１５９条 第１６２条
　　・外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律

3.著作権法で保護されているもの
　著作権法により保護されている著作物（書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画および写真など）を複製、印刷することは、個人または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で使用する目的で複製、印刷する場合を除き、禁止されています。

* 画面の表示内容やイラストは機種、オプション、機能の設定によって異なります。

マークについて

本書で使われているマークには次のような意味があります。

⚠危険

※安全上のご注意についての説明です。
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
『ハードウェアガイド』「安全に正しくお使いいただくために」にまとめて記載していますので、必ずお読みください。

⚠注意

※安全上のご注意についての説明です。
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
『ハードウェアガイド』「安全に正しくお使いいただくために」にまとめて記載していますので、必ずお読みください。

重要

機能をご利用になるときに留意していただきたい項目を記載しています。紙づまり、原稿破損、データ消失などの原因になる項目も記載していますので、必ずお読みください。

補足

機能についての補足項目、操作を誤ったときの対処方法などを記載しています。

参照

説明、手順の中で、ほかの記載を参照していただきたい項目の参照先を示しています。
各タイトルの一番最後に記載しています。

[ ]
キーとボタンの名称を示します。

『 』
本書以外の分冊名称を示します。

6. 機器の監視

Web Image Monitor を使った設定について説明しています。

Web ブラウザを使う

Web ブラウザを使って、本機の状態を確認したり、本機のネットワークに関する設定を変更することができます。この機能を Web Image Monitor といいます。

重要

・この機能はネットワーク接続をしているときに使用できます。

♦ どんなことができるのか？

Web Image Monitor は、離れた場所にある機器の状態確認や設定変更を、ネットワークを介したパソコンの Web ブラウザ上からできる機能です。

Web Image Monitor では以下の操作ができます。

・機器の状態／設定の表示
・ジョブの状態／履歴の確認
・印刷中ジョブの中止
・本機のリセット
・アドレス帳の管理
・本機の各種設定
・メール通知機能の設定
・ネットワークプロトコルに関する設定
・セキュリティの設定

♦ 本機の環境設定

この機能は TCP/IP プロトコルを使って動作します。Web Image Monitor を使用する場合は、本機で TCP/IP プロトコルの設定を行ってください。TCP/IP の設定が正しく行われると、この機能は自動的に有効になります。

♦ 推奨ブラウザ

・Windows 環境：
Internet Explorer 5.5 SP2 以降
Firefox 1.0 以降
・Macintosh 環境：
Firefox 1.0 以降
Safari 1.0、1.2、2.0（412.2）以降

また、Web Image Monitor はスクリーンリーダに対応しています。推奨するアプリケーションと動作環境は次のとおりです。

・推奨するアプリケーション
95Reader Ver.6.0 (XPReader) 以降
・動作環境

Windows 環境：Microsoft Internet Explorer 5.5 SP2 以降

補足

- 使用するブラウザのバージョンが推奨ブラウザより低い場合や、使用するブラウザの設定で、「JavaScript」、「Cookie の使用許可」が有効になっていない場合は、表示や操作に不具合が生じる場合があります。
- プロキシサーバーをご使用の場合、本機との接続にプロキシサーバーを経由しない設定にしてください。詳しくはネットワーク管理者に確認してください。
- ブラウザの［戻る］で前のページに戻れないことがあります。そのときはブラウザの［更新］または［再読み込み］をクリックしてください。
- Web Image Monitor で取得できる情報は、自動的に更新されません。情報を更新する場合は、Web Image Monitor のワークエリアに表示された［最新の情報に更新］をクリックしてください。
- Mac OS 10.4.1 上の Safari はご使用になれません。
- Firefox をご使用の場合、テーブルがくずれる、フォントや色が異なるなどの可能性があります。
- IPv6 環境下の Windows Server 2003/2003 R2 でホスト名をご使用の場合は、外部の DNS サーバでホスト名の解決を行ってください。hosts ファイルはご使用になれません。

参照

- P.11 「お使いになる前に」

トップページを表示する

Web Image Monitor の表示方法とトップページの説明です。

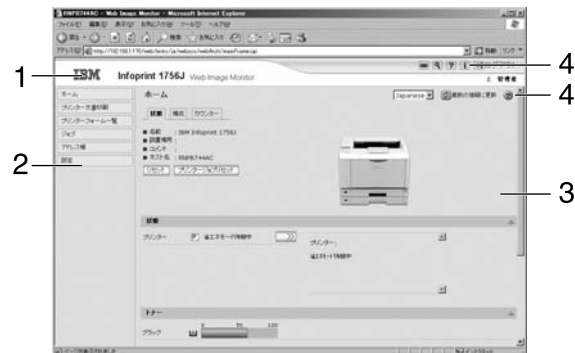
1 Web ブラウザを起動します。

2 Web ブラウザのアドレスバーに「http://（本機のアドレス）/」と入力し、本機にアクセスします。

Web Image Monitor のトップページが表示されます。

DNS サーバー、WINS サーバーを使用し、本機のホスト名が設定されている場合、ホスト名を入力することができます。

サーバー証明を発行し、SSL（暗号化通信）の設定をしている場合は、「https://（本機のアドレス）/」と入力します。

Web Image Monitor は、フレーム機能によって次のエリアに分割表示されます。

1 **ヘッダーエリア**
ヘルプ、キーワード検索用のダイアログが表示されます。

2 **メニューエリア**
それぞれのモードのメニュー項目が表示されます。
メニュー項目を選択すると、その内容をワークエリアに表示、またはサブメニューを表示します。

3 **ワークエリア**
トップページでは、現在の機器の状態を表示します。
また、メニューエリアで選択された項目の内容を表示します。
ワークエリア内の情報は自動的に更新されません。情報を更新したい場合は、同エリア右上の［最新の情報に更新］をクリックしてください。なお、Webブラウザ画面全体を更新したい場合は、ブラウザの［更新］をクリックしてください。

4 **ヘルプ**
ヘルプファイルを閲覧することができます。

メニュー構成とモード

Web Image Monitor には、ゲストモードと管理者としてログインする管理者モードがあり、表示されるメニューが異なります。
また、お使いの機種により表示される項目が異なります。

♦ ゲストモード

ゲストモードでは、機器の状態や設定、ジョブの状態などを表示できます。ただし、機器に関する設定を変更することはできません。

AUU003S

1 **ホーム**
給紙トレイ、排紙トレイとトナー残量の状態表示、本機の機能、システム情報とカウンターの表示、および搭載されているエミュレーションが表示されます。

2 **プリンター文書印刷**
試し印刷文書／機密印刷文書／保留印刷文書／保存文書の一覧が表示されます。

3 **プリンターフォーム一覧**
イメージオーバーレイフォームの一覧が表示されます。

4 **ジョブ**
スプール印刷ジョブ、ジョブ履歴、エラー履歴の一覧表示、および試し印刷／機密印刷の一覧表示ができます。

5 **設定**
現在の本機の設定内容およびネットワーク設定の内容が表示されます。

◆ 管理者モード

管理者としてログインする管理者モードでは、機器に関する各種の設定ができます。

1 **ホーム**
［状態］タブ、［構成］タブ、［カウンター］タブが表示され、ワークエリアに各タブの詳細情報が表示されます。

2 **プリンター文書印刷**
試し印刷文書／機密印刷文書／保留印刷文書／保存文書の一覧が表示されます。

3 **プリンターフォーム一覧**
イメージオーバーレイフォームの一覧が表示されます。

4 **ジョブ**
各ジョブの一覧を表示することができます。

5 **アドレス帳**
本機を利用するユーザー情報の一覧が表示されます。

6 **設定**
本機のシステム設定やインターフェースの設定、ネットワーク設定、およびセキュリティの設定ができます。

7 **リセット**
トップページの［リセット］ボタンをクリックすると、実行中のジョブが終了次第、本機のプリンター機能をリセットします。

8 **プリンタージョブリセット**
トップページの［プリンタージョブリセット］ボタンをクリックすると、実行中のジョブ、または、実行中および待機中のすべてのジョブをリセットすることができます。

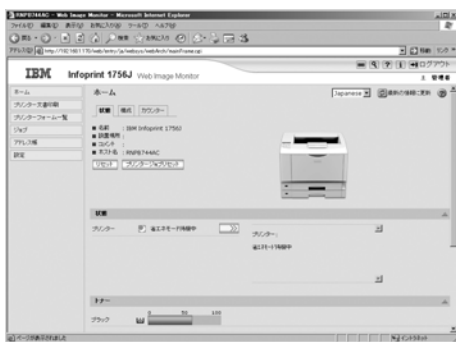
補足

・表示や設定項目の詳細は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

6

管理者モードでアクセスする

Web Image Monitor に管理者モードでアクセスする方法です。

1 **Web Image Monitor のトップページで、［ログイン］をクリックします。**

ログインユーザー名とログインパスワードを入力する画面が表示されます。

2 **ログインユーザー名とログインパスワードを入力して、［ログイン］をクリックします。**

ログインユーザー名とログインパスワードは管理者にお問い合わせください。

6

Web Image Monitor のヘルプについて

Web Image Monitor のヘルプを表示する方法です。

Web Image Monitor のヘルプをはじめてご使用になる場合、ヘッダーエリアに表示された［ヘルプ］、またはワークエリアに表示された？マークのアイコンをクリックすると設定画面が表示され、2 種類の方法で Web Image Monitor のヘルプを見ることができます。

補足

- ヘッダーエリアに表示された［ヘルプ］をクリックすると、通常は Web Image Monitor のヘルプの目次を表示します。
- ワークエリアに表示された？マークのアイコンをクリックすると、通常はワークエリアに表示された内容についてのヘルプを表示します。

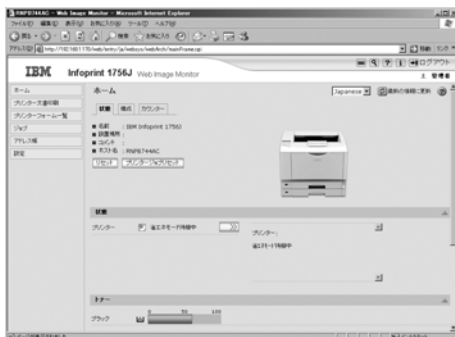
ヘルプへのアドレス (URL) リンク

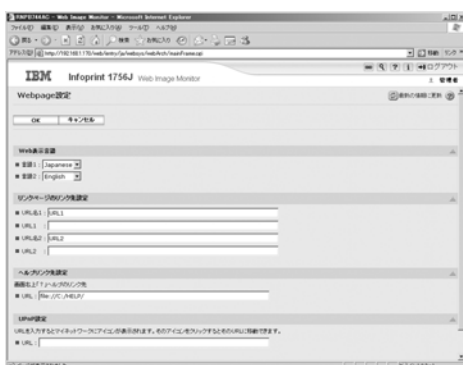
パソコンまたは Web サーバーのヘルプファイルに、ヘッダーエリアに表示された［ヘルプ］のアドレス (URL) を次の手順でリンクすることができます。

1 **同梱の CD-ROM 内のヘルプファイルを任意の場所にコピーします。**

ヘルプファイルの収録フォルダは、CD-ROM ドライブが D:¥の場合は「D:¥WEBHELP」です。

2 **管理者モードで Web Image Monitor にアクセスします。**

3 画面左のメニューから［設定］をクリックします。

4 ［Webpage］メニューの［Webpage 設定］をクリックします。

5 「ヘルプリンク先設定」の［URL］にヘルプファイルへのパスを入力します。

例えば、C:¥HELP¥JA にヘルプファイルをコピーしていた場合、「file://C:/HELP/」と入力します。また、Web サーバー上にファイルをコピーしていて URL が http://a.b.c.d/HELP/JA/index.html の場合、「http://a.b.c.d/HELP/」と入力します。

6 ［OK］をクリックします。

Infoprint Administrator を使う

Infoprint Administrator は TCP/IP プロトコル、IPX/SPX プロトコルを使ってネットワーク上の機器を監視するソフトウェアです。ネットワーク上の複数の機器の管理が可能です。ネットワーク管理者の方がお使いになることをお勧めします。

★ 重要

- この機能はネットワーク接続をしているときに使用できます。

♦ Windows の対象 OS とプロトコルスタック

- Windows 98/Me 日本語版
  Windows 98/Me に同梱の TCP/IP プロトコル
  Windows 98/Me に同梱の IPX/SPX 互換プロトコル
  Windows 98/Me に同梱の NetWare ネットワーククライアント
  Novell Client for Windows 98/Me
- Windows 2000 日本語版
  Windows 2000 に同梱の TCP/IP プロトコル
  Windows 2000 に同梱の IPX/SPX トランスポート
  Windows 2000 に同梱の NetWare 用クライアント
  Novell Client for Windows 2000/XP
- Windows Server 2003/2003 R2 日本語版
  Windows Server 2003/2003 R2 に同梱の TCP/IP プロトコル
  Windows Server 2003/2003 R2 に同梱の IPX/SPX トランスポート
- Windows XP 日本語版
  Windows XP に同梱の TCP/IP プロトコル
  Windows XP に同梱の IPX/SPX プロトコル
  Novell Client for Windows 2000/XP

♦ どんなことができるのか？

Infoprint Administrator では以下の操作ができます。

- 機器の操作部からの設定を制限し、一部の項目を変更できないようにします。
- 機器にセットされている用紙の種類を設定できます。
- 省エネモードへの切り替え、復帰などを設定できます。
- 印刷中、用紙切れなどの情報をパソコン上で確認できます。
- 同時に複数の機器を監視できます。機器の台数が多いときはグループを作り、管理しやすいように機器を分類できます。
- 機器のネットワークに関する設定や、装備に関する詳しい情報を確認できます。
- 機器のネットワークに関する設定を変更できます。
- パソコンから行ったジョブの結果を確認できます。
- ユーザーコードごとのカウンター情報を確認できます。
- 登録されたユーザーコードごとに、印刷の利用可・不可を管理できます。
- 機器の状態変化をグループごとに設定し、通知することができます。
- メールの送信者名やフォルダの宛先を保護します。

参照

- P.11 「お使いになる前に」

6

Infoprint Administrator のインストール

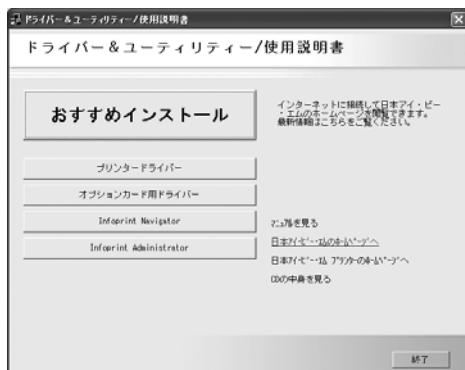
Infoprint Administrator のインストールについての説明です。

重要

・起動しているすべてのアプリケーションを終了し、パソコンが印刷中でないか確認してください。

1 本機に同梱の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

インストーラーが起動します。

2 セットアップ画面が表示されたら、［Infoprint Administrator］をクリックします。

Infoprint Administrator のセットアップ画面が表示されます。

3 ［次へ］をクリックします。

4 ［使用許諾契約］ダイアログにソフトウェア使用許諾契約書が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、［はい］をクリックします。

5 表示されるメッセージに従って Infoprint Administrator をインストールします。

インストールが完了するとメッセージが表示されます。

6 ［完了］をクリックします。

「Windows の再起動」ダイアログが表示される場合は、Windows を再起動してください。

補足

・システムの設定によってはインストーラーが自動的に起動しないことがあります。その場合は、CD-ROM のルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。

6

機器の状態を表示する

機器の状態を表示する方法の説明です。

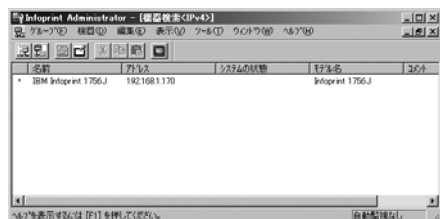
1 Infoprint Administrator を起動します。

2 ［グループ］メニューをクリックします。

3 ［機器検索］をポイントし、プロトコルを選びます。

選択できるプロトコルは以下のとおりです。設定を変更する機器が使用しているプロトコルを選択してください。

・IPv4
・IPX/SPX
・IPv4 SNMPv3

IPv4 SNMPv3 のプロトコルをご使用の場合、認証情報の入力が必要となります。

一覧に機器の状態がアイコンで表示されます。

4 より詳しい状態を知りたい場合は、一覧で状態を知りたい機器をクリックして反転表示させ、［機器］メニューの［開く］をクリックします。

選択した機器の状態が、ダイアログに表示されます。

5 Infoprint Administrator を終了します。

補足

・ダイアログの各項目の詳細については、Infoprint Administrator のヘルプを参照してください。

ユーザー情報を管理する

Infoprint Administrator でユーザー情報を管理する方法の説明です。
ユーザー情報管理ツールを使用して、ユーザーコードごとの印刷枚数を管理したり、利用可能な機能を制限したりすることができます。

ユーザー情報管理ツールを起動する

ユーザー情報管理ツールを起動する方法の説明です。

1 Infoprint Administrator を起動します。

2 **［グループ］メニューをクリックし、［機器検索］をポイントし、［IPv4］、［IPX/SPX］または［IPv4 SNMPv3］をクリックします。設定を変更する機器が使用しているプロトコルを選択してください。**

機器の一覧が表示されます。

IPv4 SNMP v3 のプロトコルをご使用の場合、認証情報の入力が必要となります。

3 **一覧からユーザー情報を管理する機器をクリックして反転表示させます。**

4 **［ツール］メニューの［ユーザー情報管理ツール］を選択します。**

ログインユーザー名とログインパスワードを入力する画面が表示されます。

5 **ログインユーザー名とログインパスワードを入力して［ログイン］をクリックします。**

Web Image Monitor に管理者モードでアクセスするときと同じログインユーザー名とログインパスワードを入力してください。ログインユーザー名とログインパスワードは管理者にお問い合わせください。

ユーザー情報管理ツールが起動します。

補足

・ユーザー情報管理ツールについて詳しくは、Infoprint Administrator のヘルプを参照してください。

印刷枚数を表示する

ユーザー別の印刷枚数情報を表示する方法の説明です。

1 **Infoprint Administrator のユーザー情報管理ツールを起動します。**

2 ［ユーザー別印刷カウント］タブをクリックします。

本機で印刷した枚数に関する情報が表示されます。

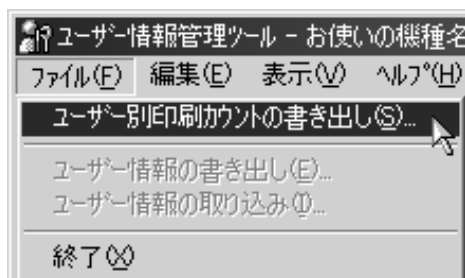
3 ［ファイル］メニューの［終了］をクリックし、ユーザー情報管理ツールを終了します。

印刷枚数の情報を保存する

ユーザー別の印刷枚数情報を csv ファイルで保存する方法の説明です。

1 Infoprint Administrator のユーザー情報管理ツールを起動します。

2 ユーザー情報管理ツールの［ユーザー別印刷カウント］タブをクリックします。

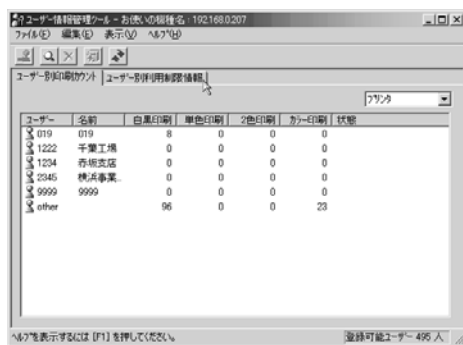
3 ［ファイル］メニューをクリックし、［ユーザー別印刷カウントの書き出し］をクリックします。

4 保存するフォルダとファイル名を指定し、［保存］をクリックします。

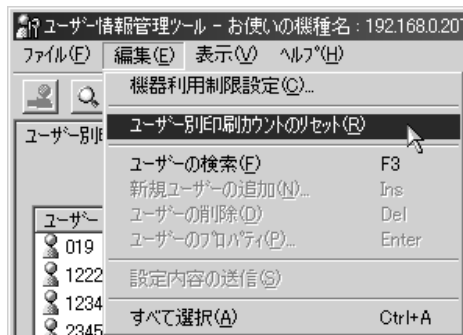
5 ［ファイル］メニューの［終了］をクリックし、ユーザー情報管理ツールを終了します。

印刷枚数の情報をリセットする

ユーザーごとに、印刷枚数の情報をリセットし、表示を 0 に戻す方法の説明です。

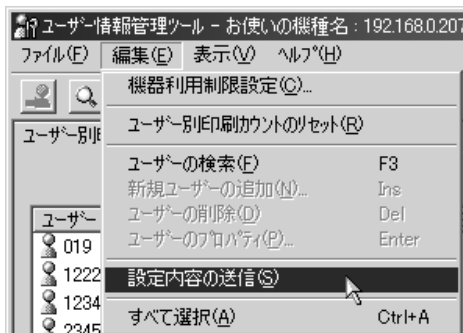
1 Infoprint Administrator のユーザー情報管理ツールを起動します。

2 ユーザー情報管理ツールの［ユーザー別印刷カウント］タブをクリックします。

3 リセットするユーザーをクリックします。

4 ［編集］メニューをクリックし、［ユーザー別印刷カウントのリセット］をクリックします。

5 リセットする項目のチェックボックスにチェックを付け、[OK] をクリックします。

確認のメッセージが表示されます。

6 ［OK］をクリックします。

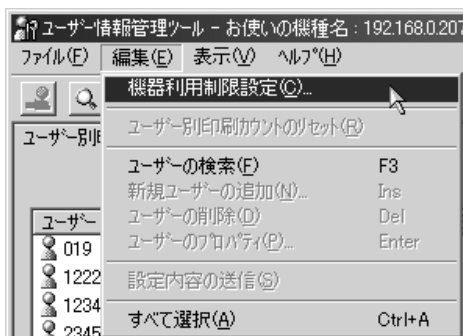
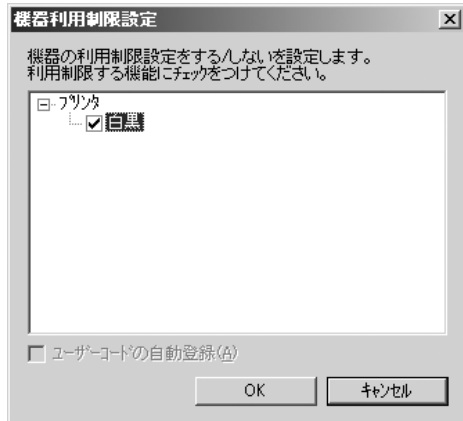
7 ［編集］メニューをクリックし、［設定内容の送信］をクリックします。

変更した情報が本機に反映されます。

8 ［ファイル］メニューの［終了］をクリックし、ユーザー情報管理ツールを終了します。

利用制限を設定する

本機の機能について、機能ごとに利用制限を設定する方法の説明です。

1 Infoprint Administrator のユーザー情報管理ツールを起動します。

2 ユーザー情報管理ツールの［編集］メニューをクリックし、［機器利用制限設定］をクリックします。

3 利用制限を設定する機能のチェックボックスにチェックを付けます。

4 ［OK］をクリックします。

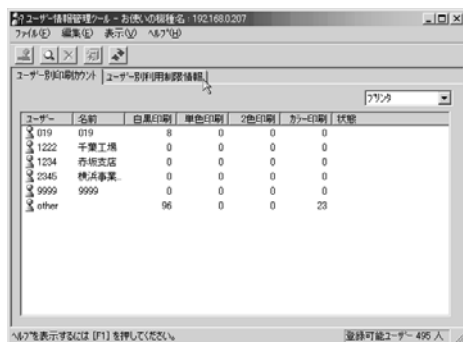
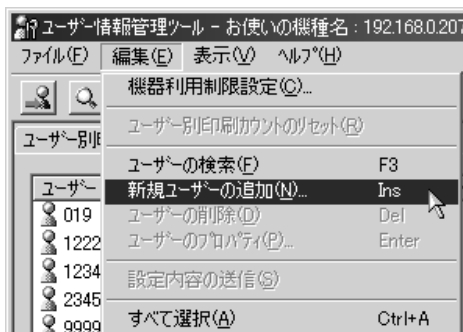
設定内容が本機に反映されます。

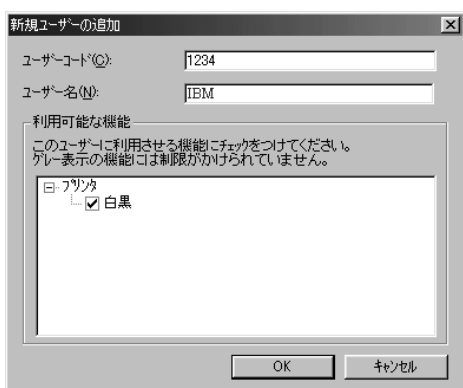
5 ［ファイル］メニューの［終了］をクリックし、ユーザー情報管理ツールを終了します。

ユーザーごとに利用可能な機能を設定する

ユーザーごとに利用可能な機能を設定する方法の説明です。
ここでは、ユーザーを追加して利用可能な機能を設定する方法を説明します。

1 Infoprint Administrator のユーザー情報管理ツールを起動します。

2 ユーザー情報管理ツールの［ユーザー別利用制限情報］タブをクリックします。

3 [編集] メニューをクリックし、[新規ユーザーの追加] をクリックします。

4 ユーザーコードと名前を入力します。

5 追加したユーザーに使用を許可する機能のチェックボックスにチェックを付けます。

チェックボックスがグレーになっている機能は利用制限が設定されていません。

6 [OK] をクリックします。

ユーザーが追加されます。

7 [編集] メニューをクリックし、[設定内容の送信] をクリックします。

設定内容が本機に反映されます。

8 ［ファイル］メニューの［終了］をクリックし、ユーザー情報管理ツールを終了します。

補足

・利用制限の設定方法について詳しくは、Infoprint Administrator のヘルプを参照してください。

スプール印刷ジョブの一覧を確認する

スプール印刷ジョブの一覧を確認する方法の説明です。

1 Infoprint Administrator を起動します。

2 ［グループ］メニューをクリックし、［機器検索］をポイントし、［IPv4］、［IPX/SPX］または［IPv4 SNMPv3］をクリックします。設定を変更する機器が使用しているプロトコルを選択してください。

機器の一覧が表示されます。
IPv4 SNMP v3 のプロトコルをご使用の場合、認証情報の入力が必要となります。

3 スプール印刷ジョブの一覧を確認したい機器をクリックして反転表示させ、［ツール］メニューの［スプール印刷ジョブ一覧（プリンタ）］をクリックします。

Web ブラウザが起動して、ログインユーザー名とログインパスワードを入力する画面が表示されます。

4 ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、［ログイン］をクリックします。

ログインユーザー名とログインパスワードは管理者にお問い合わせください。
Web Image Monitor にスプール印刷ジョブ一覧が表示されます。表示されたスプール印刷ジョブを削除することができます。

補足

・スプール印刷ジョブ一覧を表示するためには、あらかじめ本機のスプール印刷を［有効］に設定する必要があります。
・詳しくは、スプール印刷ジョブ一覧エリア内のヘルプを参照してください。

機器の設定を変更する

Web Image Monitor を使って機器の設定を変更する方法の説明です。Infoprint Administrator から Web Image Monitor を起動させて設定することもできます。
ここでは以下の設定変更の方法を説明します。
・機器側操作部のメニューをロックする設定
・用紙種類の設定
・管理者用パスワードの設定
・本体機器名とコメントの設定

■Web Image Monitor で設定画面を表示する

Web Image Monitor で、各項目の設定画面を表示させるまでの方法は共通となります。

1 **Web ブラウザを起動します。**

2 **Web ブラウザのアドレスバーに「http://（本機のアドレス）/」と入力し、本機にアクセスします。**

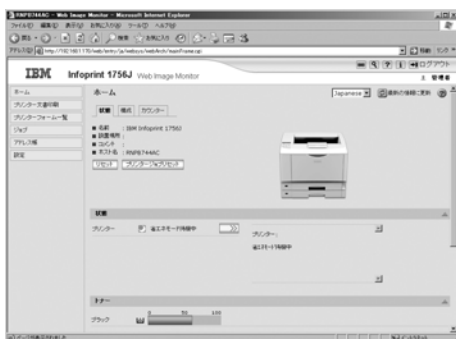
Web Image Monitor のトップページが表示されます。
DNS サーバー、WINS サーバーを使用し、本機のホスト名が設定されている場合、ホスト名を入力することができます。
サーバー証明を発行し、SSL（暗号化通信）の設定をしている場合は、「https://（本機のアドレス）/」と入力します。

3 **Web Image Monitor のトップページで、［ログイン］をクリックします。**

ログインユーザー名とログインパスワードを入力する画面が表示されます。

4 **ログインユーザー名とログインパスワードを入力して、［ログイン］をクリックします。**

ログインユーザー名とログインパスワードは管理者にお問い合わせください。

5 **画面左のメニューから［設定］をクリックします。**

設定の画面が表示されますので、必要な項目をクリックします。

6 **設定を変更し、［OK］をクリックします。**

7 **［ログアウト］をクリックします。**

8 **Web ブラウザを閉じます。**

補足

・それぞれの設定方法については、各項目をご覧下さい。

参照

・P.191 「機器側操作部のメニューをロックする」
・P.192 「用紙種類を設定する」
・P.193 「管理者用パスワードを設定する」

6

・P.193 「本体機器名とコメントを変更する」

■Infoprint Administrator から Web Image Monitor を起動する方法

1 Infoprint Administrator を起動します。

2 ［グループ］メニューをクリックし、［機器検索］をポイントし、［IPv4］、［IPX/SPX］または［IPv4 SNMPv3］をクリックします。設定を変更する機器が使用しているプロトコルを選択してください。

機器の一覧が表示されます。
IPv4 SNMPv3 のプロトコルをご使用の場合、認証情報の入力が必要となります。

3 一覧から設定を変更する機器をクリックして反転表示させせます。

4 ［ツール］メニューの［イーサネットボード設定］を選択します。

Web ブラウザが起動して、ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。
ネットワークインターフェースボードが初期設定の状態の場合、イーサネットボード設定ツールが起動します。表示スタイルから［Web ブラウザ］をチェックして、［OK］をクリックします。
Web Image Monitor に管理者モードでアクセスします。

5 「Web Image Monitor で設定画面を表示する」の手順５からと同様の手順で設定します。

機器側操作部のメニューをロックする

機器側操作部のメニューをロックする方法の説明です。

1 管理者モードで Web Image Monitor にアクセスし、［設定］をクリックします。

手順の詳細については「Web Image Monitor で設定画面を表示する」を参照してください。

2 ［機器］の［システム］をクリックします。

Web Image Monitor にシステム設定画面が表示されます。

3 ［機器側プリンター操作部のメニュープロテクト］で［レベル１］、または［レベル２］を選びます。

4 ［OK］をクリックします。

5 Web Image Monitor を終了します。

6

補足

- 設定項目の詳細は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。
- Infoprint Administrator から Web Image Monitor の設定画面を表示する場合は、「Infoprint Administrator から Web Image Monitor を起動する方法」の手順 4 で、［イーサネットボード設定］ではなく、［機器側操作部のメニューロック］を選択します。

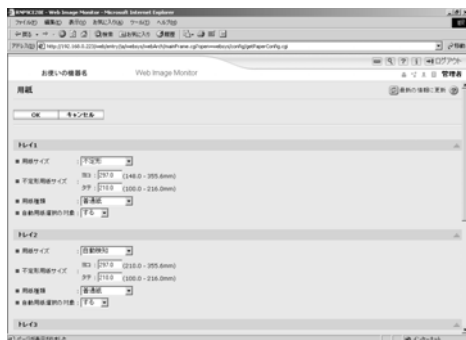
用紙種類を設定する

用紙種類を設定する方法の説明です。

1 管理者モードで Web Image Monitor にアクセスし、［設定］をクリックします。

手順の詳細については「Web Image Monitor で設定画面を表示する」を参照してください。

2 ［機器］の［用紙］をクリックします。

Web Image Monitor にシステム設定画面が表示されますので、設定を変更します。

3 Web Image Monitorを終了します。

補足

・設定項目の詳細は、Web Image Monitorのヘルプを参照してください。
・Infoprint AdministratorからWeb Image Monitorの設定画面を表示する場合は、「Infoprint AdministratorからWeb Image Monitorを起動する方法」の手順4で、[イーサネットボード設定]ではなく、[用紙種類設定]を選択します。

管理者用パスワードを設定する

管理者用パスワードを設定する方法の説明です。

1 管理者モードでWeb Image Monitorにアクセスし、[設定]をクリックします。

手順の詳細については「Web Image Monitorで設定画面を表示する」を参照してください。

2 [機器]の[管理者登録/変更]をクリックし、設定を変更します。

3 Web Image Monitorを終了します。

本体機器名とコメントを変更する

本体機器名とコメントを変更する方法の説明です。

1 管理者モードでWeb Image Monitorにアクセスし、[設定]をクリックします。

手順の詳細については「Web Image Monitorで設定画面を表示する」を参照してください。

2 [機器]の[システム]をクリックし、設定を変更します。

3 Web Image Monitorを終了します。

補足

・[名前]には、本体機器名を半角英数字31バイト以内で入力します。
・工場出荷時にはRNPで始まる名前が設定されています。RNPで始まる名前は入力できません。
・[コメント]には、機器のコメントを半角英数字31バイト以内で入力します。

Infoprint Navigator を使う

Infoprint Navigator を使って機器を監視する方法の説明です。

重要

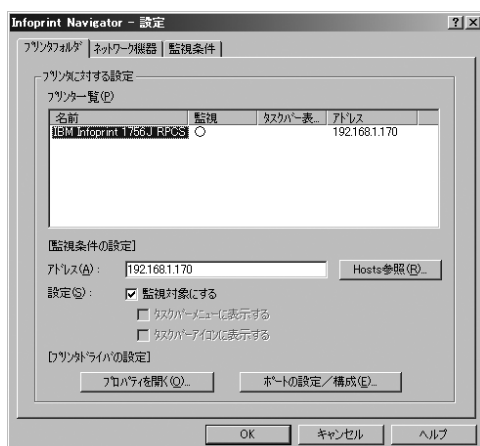
- この機能はネットワーク接続をしているときに使用できます。

監視する機器を設定する

Infoprint Navigator で監視する機器を設定する方法の説明です。

1. タスクトレイの Infoprint Navigator アイコンを右クリックし、表示されたポップアップメニューの［プロパティ］-［機器監視設定］をクリックします。

2. ［Infoprint Navigator- 設定］ダイアログが表示されます。

3. 監視するプリンターをクリックして反転表示させ、［設定］の［監視対象にする］にチェックを付けます。

［タスクバーアイコンに表示する］にチェックを付けると、タスクトレイの Infoprint Navigator アイコンにプリンターの状態がアイコンで表示されるようになります。

4. ［OK］をクリックします。

ダイアログが閉じ、設定したプリンターが監視の対象に含まれます。

補足

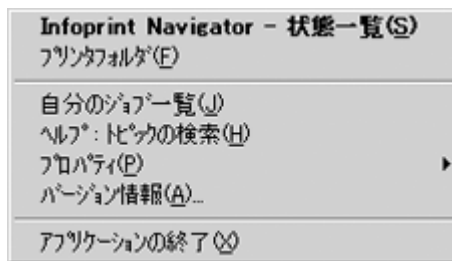
・状態アイコンの詳細についてはヘルプを参照してください。

参照

・P.11 「お使いになる前に」

機器の状態を表示する

Infoprint Navigator で機器の状態を表示する方法の説明です。

1 **タスクトレイの右端の Infoprint Navigator アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、状態を知りたい機器をクリックします。**

機器の状態が、ダイアログに表示されます。

補足

・ダイアログの各項目の詳細についてはヘルプを参照してください。

参照

・P.11 「お使いになる前に」

6

Infoprint Navigator で IPP を使用する場合

Infoprint Navigator で IPP を使用する際の注意事項です。

- 本機が受け付ける Infoprint Navigator からの印刷ジョブは、1 件のみです。本機が印刷中のとき、他のユーザーが Infoprint Navigator を使用して続けて接続しようとしても、先に行っている印刷が完了するまでは接続できません。この場合、後から接続しようとしたユーザーの Infoprint Navigator は、リトライ設定時間経過ごとに接続を試みます。
- Infoprint Navigator が本機に接続できずにタイムアウトになると、印刷ジョブが一時停止されます。この場合、プリンターウィンドウで一時停止を解除する必要があります。このとき、本機に接続し直されます。印刷ジョブは、プリンターウィンドウで取り消すことができますが、本機が印刷を開始してから印刷ジョブを取り消すと、この次にプリンターに接続したユーザーの印刷ジョブが正しく印刷できなくなる場合があります。
- Infoprint Navigator からの印刷ジョブが途切れて印刷できなくなって本機により印刷ジョブが取り消された場合は、印刷の操作をもう一度やり直す必要があります。
- 他のパソコンから出された印刷ジョブは、プロトコルにかかわらず、プリンターのアイコンをダブルクリックして開くウィンドウに表示されません。
- 複数のユーザーが Infoprint Navigator を使用して印刷しようとした場合、本機に接続しようとした順に印刷が始まらない場合があります。
- IPP の印刷ポート名に IP アドレスは使用できません。Infoprint Navigator がポート名として IP アドレスを使用するため、ポートの競合が発生します。
- SSL を使用する場合、本機にアクセスするときは、「https://（本機のアドレス）/printer」と入力します。この場合、ご使用のパソコンに Internet Explorer がインストールされている必要があります。最新のバージョンをお使いください。Internet Explorer6.0 以降を推奨します。
- 本機にアクセスするとき、[セキュリティの警告] が表示された場合、ご使用のパソコンに証明書をインストールする必要があります。この場合、[証明書のインポートウィザード] で証明書ストアの場所は、[証明書をすべて次のストアに配置する] を選択し、[信頼されたルート] の [ローカルコンピュータ] を選択します。

補足

- SSL（暗号化通信）について詳しくは、管理者にお問い合わせください。

機器の状態をメールで通知する

本機に用紙切れや紙詰まりなどのアラートが発生したときに、メール通知機能を使用して機器の状態を通知することができます。
機器の状態を通知するメールは、あらかじめ設定した送信先メールアドレスに送信されます。
アラートを通知するタイミングや状態なども設定することができます。
通知設定できるものは、以下の通りです。

- サービスコールが発生した場合
- トナーがなくなった場合
- トナーの残りがわずかになった場合
- メンテナンスキットの交換時期が近づいた場合
- 紙づまりがおきた場合
- ドアオープンが検知された場合
- 紙がなくなった場合
- 紙の残りがわずかになった場合
- 給紙トレイでエラーが発生した場合
- 排紙トレイが満杯になった場合
- ユニットの接続にエラーが発生した場合
- ハードディスクの文書保存領域が満杯に近づいた場合
- ログエラーになった場合

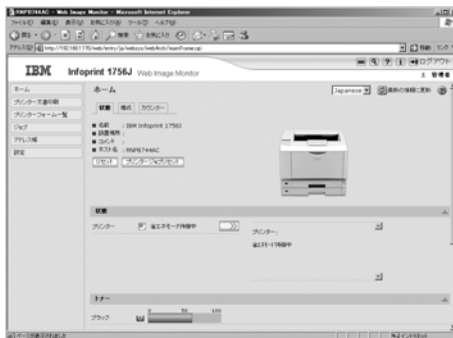
重要

- この機能はネットワーク接続をしているときに使用できます。

1 **本機の操作部を使用して、[システム設定] メニューの [メール通知設定] を [する] に設定します（工場出荷時は [する] に設定されています）。**

2 **Web ブラウザを起動し、アドレスバーに「http://（本機のアドレス）/」と入力し、本機にアクセスします。**

SSL（暗号化通信）の設定を有効にしている場合、「https://（本機のアドレス）/」と入力します。
Web Image Monitor のトップページが表示されます。

3 **Web Image Monitor のトップページで、[ログイン] をクリックします。**

ログインユーザー名とログインパスワードを入力する画面が表示されます。

4 ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]をクリックします。

ログインユーザー名とログインパスワードは管理者にお問い合わせください。

5 画面左のメニューから[設定]をクリックし、[機器]エリアの[メール]をクリックします。

6 設定画面に示された以下の項目のうち、必要なものを設定します。

- 管理者メールアドレス：機器に問題が発生した場合や消耗品の交換が必要な場合に、メール通知をする宛先の設定を行います。
- 受信欄の各項目：メール受信の際に必要なプロトコルの設定を行います。
- SMTP 欄の各項目：SMTP サーバーに関する設定を行います。お使いのメール環境をご確認の上、必要項目を設定してください。
  SMTP サーバーに対してメールの認証を行うこともできます。「SMTP 認証の場合」を参照してください。
- POP before SMTP 欄の各項目：POP サーバーに関する設定を行います。お使いのメール環境をご確認の上、必要項目を設定してください。
  POP サーバーに対してメールの認証を行うこともできます。「POP before SMTP 認証の場合」を参照してください。
- POP3/IMAP4 欄の各項目：POP3 サーバーまたは IMAP4 サーバーに関する設定を行います。お使いのメール環境をご確認の上、必要項目を設定してください。
- メール受信ポート欄の各項目：メールサーバーにアクセスする際に使用するポートの設定を行います。
- メール通知アカウント欄の各項目：要求時メール通知を使用する場合は設定を行います。

7 [OK]をクリックします。

参照

・P.11 「お使いになる前に」

6

「自動メール通知」の設定

1 画面左のメニューから［設定］をクリックし、［機器］エリアの［自動メール通知］をクリックします。

通知項目に関する設定画面が表示されます。

2 設定画面に示された以下の項目を設定します。

- 共通本文：機器の設置場所や、サービスコールが発生したときの連絡先など、任意の文字列を設定できます。
- 通知先グループ欄の各項目：通知先アドレスをグループ分けして設定できます。
- 項目ごとの通知先欄の各項目：機器の状態やエラーなど、各通知項目ごとに、メールを送信するグループを設定できます。
  項目の詳細を設定する場合は、［各項目の詳細設定：］の［編集］をクリックし、表示される設定画面で各項目を設定して［OK］をクリックします。

3 ［OK］をクリックします。

4 ［ログアウト］をクリックします。

5 Web ブラウザを閉じます。

6

「要求時メール通知」の設定

1 画面左のメニューから［設定］をクリックし、［機器］エリアの［要求時メール通知］をクリックします。

2 設定画面に示された以下の項目を設定します。

- 共通件名：返信メールの件名に共通で付加する文字列を入力します。
- 共通本文：機器の設置場所や、サービスコールが発生したときの連絡先など、任意の文字列を設定できます。
- 要求時メール通知のアクセス制限の各項目：機器の設定内容や状態など、分類された情報ごとに、アクセスを制限するかどうかを選択します。
- 受信可能メールアドレス / ドメイン設定の各項目：メールで情報を要求し、返信メールとして情報を受け取ることができるメールアドレスまたはドメイン名を入力します。

3 ［OK］をクリックします。

4 ［ログアウト］をクリックします。

5 Web ブラウザを閉じます。

メールの認証について

メールサーバーの不正利用を防止するために、メールの認証を設定できます。

■SMTP 認証の場合

SMTP サーバーへのメール送信時に、SMTP AUTH プロトコルを使用してユーザー名とパスワードを入力し、認証を行うことで SMTP サーバーの不正利用を防止します。

1 画面左のメニューから［設定］をクリックし、［機器］メニューの［メール］をクリックします。

2 設定画面に示された以下の項目を設定します。

- SMTP サーバー名：SMTP サーバー名を半角の英数字で入力します。
- SMTP ポート番号：SMTP サーバーにメールを送信するときに使用するポートの番号を半角の数字で入力します。
- SMTP 認証：SMTP 認証の有効／無効を指定します。
- SMTP 認証メールアドレス：使用するメールアドレスを、半角の英数字で入力します。
- SMTP 認証ユーザー名：SMTP アカウント名を半角の英数字で入力します。realmID を指定する場合には、SMTP 認証ユーザー名の後に@ realmID の形式で追加してください。
- SMTP 認証パスワード：使用する SMTP アカウントのパスワードを設定します。
- SMTP 認証暗号化：SMTP 認証を有効にした場合に、パスワードの暗号化を行うかどうかを選択します。
  [自動選択]：認証方式が PLAIN、LOGIN、CRAM-MD5、DIGEST-MD5 の場合に指定します。
  [有効]：認証方式が CRAM-MD5、DIGEST-MD5 の場合に指定します。
  [無効]：認証方式が PLAIN、LOGIN の場合に指定します。

3 [OK] をクリックします。

4 [ログアウト] をクリックします。

5 Web ブラウザを閉じます。

■POP before SMTP 認証の場合

メールを送信するときに、あらかじめ POP3 サーバーに対してログインを行うかどうかを選択します。

1 画面左のメニューから [設定] をクリックし、[機器] メニューの [メール] をクリックします。

2 設定画面に示された以下の項目を設定します。

- POP before SMTP：メールを送信するときに、あらかじめ POP3 サーバーに対してログインを行うかどうかを選択します。
- POP メールアドレス：使用するメールアドレスを、半角の英数字で入力します。
- POP ユーザー名：POP アカウント名を半角の英数字で入力します。
- POP パスワード：使用する POP アカウントのパスワードを設定します。
- POP 認証後待機時間：POP before SMTP を有効に設定した場合に、POP サーバーにログインしてから SMTP サーバーに接続を開始するまでの時間を入力します。

3 [OK] をクリックします。

4 [ログアウト] をクリックします。

5 Web ブラウザを閉じます。

要求時メールの送信

要求時メール機能を使用するためには、Web Image Monitor にて以下の設定をしてください。

1 ［機器］エリアの［メール］をクリックします。

2 設定画面に示された以下の項目を設定します。

- メール通知用メールアドレス：使用するメールアドレスを、半角の英数字で入力します。
- メール通知の受信：要求時メール通知機能を使用するかどうかを選択します。
- メール通知ユーザー名：メールの送信者として管理者のユーザー名を入力します。
- メール通知パスワード：メール通知ユーザーのパスワードを設定します。

3 ［OK］をクリックします。

4 ［ログアウト］をクリックします。

5 Web ブラウザを閉じます。

6

♦ 要求時メールの形式

メール通知機能を使用するためには、設定した要求メールを本機に対して送信する必要があります。
お使いのメールソフトにて、以下の形式で記述してください。

項目	内容
Subject（メールソフトでは「件名」などと表示される部分）	機器に対する要求内容を記述します。詳細は Subject フィールドを参照してください。
From（メールソフトでは「送信者」、「差出人」などと表示される部分）	有効なメールアドレスを指定してください。機器の情報はここで指定されたアドレスに送信されます。

補足

- メールの大きさは最大 10KB です。

♦ Subject フィールド

書式：devicestatus?引数名＝パラメータ [&引数名＝パラメータ [&引数名＝パラメータ]]...

補足

- 英字の大文字と小文字は区別されません。
- 引数名の記述順序は任意です。

Subject フィールドの記述例

記述例	動作
devicestatus?request=sysconfig&format=text&lang=en	機器のシステムコンフィグレーション情報が、英語のテキストフォーマットで送信されてきます。
devicestatus?request=sysconfig	機器のシステムコンフィグレーション情報が、事前に設定されているメールフォーマットとメール言語で送信されてきます。

引数名一覧

引数名	意味	省略時の動作
request	取得したい情報	省略不可
format	メールフォーマット	メールアドレスごとに事前に、設定されているフォーマットでメールが送信されます。
lang	メール本文の言語	メールアドレスごとに事前に、設定されている言語でメールが送信されます。

取得情報指定時のパラメータ

取得情報	パラメータ
システム・コンフィグレーション情報	sysconfig
ネットワーク・コンフィグレーション情報	netconfig
プリンタ・コンフィグレーション情報	prtconfig
サプライ情報	supply
機器ステータス情報	status

メールフォーマット指定時のパラメータ

メールフォーマット	パラメータ
テキスト	text
HTML	html
XML	xml

Subject フィールドに HTML や XML なども記述できますが、出力方式はテキストのみとなります。

メール本文言語指定時のパラメータ

言語	パラメータ
日本語	ja
英語	en

6

telnet を使う

telnet を使ってプリンターの状態や設定内容の確認や、各種の設定を行うことができます。

重要

- この機能はネットワーク接続をしているときに使用できます。
- リモートメンテナンス（mshell）はネットワーク管理者だけが使用できるように、パスワードを設定して運用してください。
- パスワードは Web Image Monitor による設定で使用するパスワードと共通です。mshell 上でパスワードを変更すると、他のパスワードも変更されます。

操作の流れ

telnet を起動してから終了するまでの手順についての説明です。

重要

- リモートメンテナンスを同時に複数のユーザが使用することはできません。

6

1 本機の IP アドレス（またはホスト名）を引数にして telnet を起動します。

```
% telnet 本機のアドレス
```

2 ログイン名とパスワードを入力します。

ユーザー名とパスワードは管理者にお問い合わせください。

3 コマンドを入力します。

4 telnet を終了します。

```
msh> logout
```

設定が変更されていると変更内容を保存するかどうかを確認するメッセージが表示されます。

5 変更内容を保存するときは「yes」と入力し、Enter キーを押します。

変更内容を保存しないときは「no」と入力し、Enter キーを押します。コマンド入力を続けるときは「return」と入力し、Enter キーを押します。

補足

- 「Can not write NVRAM information」とメッセージが表示されたとき、変更内容は保存されていません。もう一度操作し直してください。
- 変更内容を保存すると自動的にネットワークインターフェースボードがリセットされます。
- リセットしても Active 状態である印刷中、または印刷処理待ちの印刷ジョブは印刷されますが、Waiting 状態であるプリンターへのファイル転送待ちのジョブは破棄されます。

参照

- P.11 「お使いになる前に」

access

アクセスコントロールの表示と設定は、access コマンドを使用します。また、アクセスレンジを複数設定することもできます。

♦ 現在の設定の表示

```
msh> access
```

♦ IPv4 のアクセスレンジの設定

```
msh> access 対象 ID range 開始アドレス　終了アドレス
```

（例）アクセス可能な IPv4 のアドレスを 192.168.0.10 から 192.168.0.20 に設定する

```
msh> access 対象 ID range 192.168.0.10 192.168.0.20
```

♦ IPv6 のアクセスレンジの設定

```
msh> access 対象 ID range6 開始アドレス　終了アドレス
```

（例）アクセス可能な IPv6 のアドレスを 2001:DB8::100 から 2001:DB8::200 に設定する

```
msh> access 対象 ID range6 2001:DB8::100 2001:DB8::200
```

♦ IPv6 のアクセスマスクの設定

```
msh> access 対象 ID mask6 基準アドレス マスク長
```

(例) アクセス可能な IPv6 のアドレスを 2001:DB8::/32 に設定する

```
msh> access 1 mask6 2001:DB8:: 32
```

♦ アクセスコントロールの初期化

```
msh> access flush
```

・アクセスコントロールの初期化は、全てのアクセスレンジを工場出荷時の設定に戻し、IPv4 環境では「0.0.0.0」に、IPv6 環境では「::」となります。

補足

・アクセスレンジは、印刷できるワークステーションを IP アドレスを使って制限するためのものです。印刷を制限する必要がない場合は、IPv4 環境では「0.0.0.0」を、IPv6 環境では「::」を設定してください。
・アクセスレンジの設定で、開始アドレスが終了アドレスよりも大きい場合、設定は無効となります。
・IPv4 と IPv6 の対象 ID は、それぞれ 1〜5 の 5 件が設定できます。
・IPv6 は 1 件ごとにレンジとマスクが選択できます。
・IPv6 のマスク長は 1〜128 の範囲で指定できます。
・制限された IP アドレスからは、印刷の送信、および Web Image Monitor にアクセスすることはできません。

autonet

AutoNet 機能を使用するには、autonet コマンドを使用します。

♦ 現在の設定値の表示

```
msh> autonet
```

♦ AutoNet 機能の設定

```
msh> autonet {on|off}
```

・AutoNet 機能を有効にするには「on」を、無効にするには「off」を指定します。

♦ **現在のインターフェース優先順位の表示**

```
msh> autonet priority
```

♦ **インターフェースの優先設定**

```
msh> autonet priority インターフェース
```

・AutoNetパラメーターを取得するインターフェースの優先順位を設定することができます。
・優先順位の設定は、複数のインターフェース装着時に有効です。

インターフェース	設定されるインターフェース
ether	イーサネットインターフェース

補足

・現在のインターフェース優先順位の表示は、複数のインターフェース装着の有無に関わらず、現在の優先順位が表示されます。

参照

・P.292 「AutoNet 機能を使用する」

6

bmlinks

BMLinkS の表示や設定は、bmlinks コマンドを使用します。

♦ **現在の設定値の表示**

```
msh> bmlinks
```

♦ **BMLinkS の設定**

```
msh> bmlinks パラメーター
```

パラメーター	設定される項目
devicename 文字列	BMLinkS プリンタサービス名を設定します。デフォルトは、RNPxxxxxx です。これは、システム設定リストの「インターフェース情報」に記載されている「プリンタ名」です。
country 文字列	国名情報を設定します。 デフォルトは JP です。
orgnz 文字列	会社／組織名情報を設定します。 デフォルトでは何も設定されていません。
branch 文字列	支店名情報を設定します。 デフォルトでは何も設定されていません。
building 文字列	ビル名情報を設定します。 デフォルトでは何も設定されていません。
floor 文字列	階数情報を設定します。 デフォルトでは何も設定されていません。

パラメーター	設定される項目
block 文字列	ブロック名情報を設定します。 デフォルトでは何も設定されていません。
plainonly {on|off}	平文による通信のみを行います。 デフォルトでは「off」に設定されています。
paused {always|selectable|none}	機密印刷の動作方式を設定します。 デフォルトでは「selectable」に設定されています。
timeout [30–65535]	印刷データの受信タイムアウト時間を設定します。 デフォルトでは 900 秒に設定されています。

◆ **設定のリセット**

```
msh> bmlinks clear パラメーター
```

bonjour

Bonjour 関連の表示と設定は、bonjour コマンドを使用します。

◆ **現在の設定値の表示**

```
msh> bonjour
```

◆ **コンピューター名の設定**

```
msh> bonjour cname 文字列
```

・文字列を省略した場合は、現在の設定値を表示します。

◆ **設置場所情報の設定**

```
msh> bonjour location 文字列
```

・文字列を省略した場合は、現在の設定値を表示します。

◆ **プロトコルごとの優先順位の設定**

```
msh> bonjour diprint {0-99}
msh> bonjour lpr {0-99}
msh> bonjour ipp {0-99}
```

・diprint、lpr、ipp それぞれの優先度を設定します。数字が小さいほど優先度が高くなります。

◆ **IP TTL 値の設定**

```
msh> bonjour ipttl {1-255}
```

・IP TTL 値（越えられるルータの数）を設定します。初期値は 255 です。

◆ **コンピューター名と設置場所情報のリセット**

```
msh> bonjour clear {cname | location}
```

・cname を指定するとコンピューター名をリセットします。本機を再起動すると、コンピューター名の表示は初期値になります。
・location を指定すると設置場所情報をリセットします。設置場所情報の表示は空欄になります。

◆ **インターフェースの設定**

```
msh> bonjour linklocal インターフェース名
```

・インターフェース名を省略した場合は、現在の設定値を表示します。

- 接続する PC の IP アドレスが、DHCP の Autonet に使用される linklocal アドレスになっており、本機に複数のインターフェースが装着されている場合に、インターフェースを指定することによって通信ができるようになります。
- この設定をしない場合は、自動的にイーサネットインターフェースが設定されます。

インターフェース	設定されるインターフェース
ether	イーサネットインターフェース

♦ IPP のポート番号選択

```
msh> bonjour ippport [ipp | ssl]
```

- SSL が有効になっているときに表示されます。
- ipp を選ぶとポート番号は 631 に、ssl を選ぶとポート番号は 443 に設定されます。

devicename

本体機器名の表示や設定は、devicename コマンドを使用します。

♦ 現在の設定の表示

```
msh> devicename
```

♦ 本体機器名の設定

```
msh> devicename name 文字列
```

- 本体機器名は 31 バイト以下で指定します。
- 1 台の機器に複数の本体機器名を設定することはできません。

♦ 本体機器名の初期化

```
msh> devicename clear name
```

- 本体機器名を工場出荷時の設定に戻します。

dhcp

DHCP の設定は、dhcp コマンドを使用します。

♦ 現在の設定値の表示

```
msh> dhcp
```

♦ DHCP 機能の設定

```
msh> dhcp インターフェース {on|off}
```

- DHCP 機能を有効にするには「on」を、無効にするには「off」を指定します。
- DNS サーバーアドレスやドメイン名を DHCP から取得する場合、必ず「on」に設定してください。

インターフェース	設定されるインターフェース
ether	イーサネットインターフェース

♦ 現在のインターフェース優先順位の表示

```
msh> dhcp priority
```

◆ **インターフェースの優先設定**

```
msh> dhcp priority インターフェース
```

・DNS サーバーアドレスやゲートウェイアドレスが、どのインターフェースの DHCP サーバーのものを優先して利用するかを設定します。
・優先順位の設定は、複数のインターフェース装着時に有効です。

◆ **DNS サーバーアドレスの選択**

```
msh> dhcp dnsaddr {dhcp|static}
```

・DNS サーバーのアドレスを DHCP サーバーから取得するか、ユーザーの設定値にするかを選択します。
・DNS サーバーのアドレスを DHCP サーバーから取得する場合は「dhcp」、ユーザー設定値の場合は「static」を指定します。

◆ **ドメイン名の選択**

```
msh> dhcp domainname {dhcp|static}
```

・ドメイン名を DHCP サーバーから取得するか、ユーザーの設定値にするかを選択します。
・ドメイン名を DHCP サーバーから取得する場合は「dhcp」、ユーザー設定値の場合は「static」を指定します。

参照

・P.210 「dns」
・P.211 「domainname」
・P.292 「DHCP を使用する」

diprint

コンピュータから直接印刷を行うことができるダイレクトプリントポートの表示と設定は、diprint コマンドを使用します。

◆ **現在の設定の表示**

```
msh> diprint
```

次の設定値が表示されます。

```
port 9100
timeout = 300(sec)
bidirect on
con multi
apl async
```

・「port」使用するポート番号が表示されます。
・「bidirect」ダイレクトプリントポートが双方向通信に対応しているか表示されます。

◆ **タイムアウトの設定**

```
msh> diprint timeout [30~65535]
```

・ネットワークからデータを受信する際のタイムアウト時間を設定できます。
・工場出荷時の設定値は 300（秒）です。

◆ **同時接続数の設定**

```
msh> diprint conn {multi|single}
```

・diprint の同時接続数を multi（複数）か single（1）か設定します。

dns

DNS（Domain Name System）の表示や設定は、dns コマンドを使用します。

♦ 現在の設定値の表示

```
msh> dns
```

♦ IPv4 による DNS サーバーの設定

```
msh> dns 対象 ID server アドレス
```

- IPv4 による DNS サーバーアドレスを設定します。
- 対象 ID は 1〜3 までです。3 件まで登録できます。
- 「255.255.255.255」は設定できません。

♦ IPv6 による DNS サーバーの設定

```
msh> dns 対象 ID server6 アドレス
```

- IPv6 による DNS サーバーアドレスを設定します。
- 対象 ID は 1〜3 までです。3 件まで登録できます。

♦ ダイナミック DNS 機能の設定

```
msh> dns インターフェー ス ddns {on|off}
```

- ダイナミック DNS 機能の有効／無効を指定します。
- ダイナミック DNS 機能を有効にするには「on」を、無効にするには「off」を指定します。

インターフェース	設定されるインターフェース
ether	イーサネットインターフェース

♦ レコード重複時の動作指定

```
msh> dns overlap {update|add}
```

- レコードが重複したときの動作を指定します。
- update は古いレコードを削除し、新しくレコードを登録するときに指定します。
- add は古いレコードを残し、新しいレコードを追加登録するときに指定します。
- CNAME の重複の場合は、設定にかかわらず更新を行います。

♦ CNAME の登録

```
msh> dns cname {on|off}
```

- CNAME を登録するかどうかを指定します。
- CNAME の登録を有効にするには「on」を、無効にするには「off」を指定します。
- 登録される CNAME は RNP からはじまるデフォルトの名前です。CNAME は変更できません。

♦ A レコードの登録

```
msh> dns arecord {dhcp|own}
```

- dhcp は本機を代行して、DHCP サーバが DNS クライアントとして A レコードの登録を行う場合に指定します。
- own は本機が DNS クライアントとして A レコードの登録を行う場合に指定します。登録には、「DHCP」で指定した「DNS サーバアドレスの選択」および「ドメイン名の選択」の値が使用されます。

♦ レコードの更新間隔の設定

```
msh> dns interval 更新間隔時間
```

・ダイナミックDNS機能を使用しているときに、レコードを更新する間隔を指定します。
・更新間隔を1時間単位で指定します。1〜255の間で指定します。
・初期値は「24」です。

domainname

ドメイン名の表示や設定は、domainnameコマンドを使用します。

♦ 現在の設定の表示

```
msh> domainname
```

♦ 現在の各インターフェースのドメイン名表示

```
msh> domainname インターフェース
```

♦ 各インターフェースのドメイン名設定

```
msh> domainname インターフェース name ドメイン名
```

・ドメイン名は半角英数字63文字以下で指定します。

インターフェース	設定されるインターフェース
ether	イーサネットインターフェース

♦ 各インターフェースのドメイン名削除

```
msh> domainname インターフェース clear name
```

help

使用できるコマンドの一覧および使用方法の表示は、helpコマンドを使用します。

♦ コマンド一覧の表示

```
msh> help
```

♦ コマンド使用方法の表示

```
msh> help コマンド名
```

hostname

ホスト名を変更するには、hostnameコマンドを使用します。

♦ 現在の設定の表示

```
msh> hostname
```

♦ 現在の各インターフェースのホスト名表示

```
msh> hostname インターフェース
```

♦ 各インターフェースのホスト名の設定

```
msh> hostname インターフェース name ホスト名
```

・ホスト名は半角英数字63文字以下で指定します。
・RNPではじまる名前は、大文字、小文字が混ざった場合でも設定できません。

インターフェース	設定されるインターフェース
ether	イーサネットインターフェース

♦ **各インターフェースのホスト名の初期化**

```
msh> hostname インターフェース clear name
```

ifconfig

TCP/IP の、IP アドレス、サブネットマスク、ブロードキャストアドレス、デフォルトゲートウェイアドレスの表示や設定は、ifconfig コマンドを使用します。

♦ **現在の設定値の表示**

```
msh> ifconfig
```

♦ **IPv4 アドレスの設定**

```
msh> ifconfig インターフェース アドレス
```

・この設定しない場合は、自動的にイーサネットインターフェースが設定されます。

インターフェース	設定されるインターフェース
ether	イーサネットインターフェース

（例）イーサネットインターフェースの IP アドレスを 192.168.15.16 に設定する

```
msh> ifconfig ether 192.168.15.16
```

♦ **IPv6 アドレスの設定**

```
msh>ifconfig インターフェース名 inet6 アドレス プレフィックス長
```

(例) イーサネットインターフェースの IPv6 アドレスを 2001:DB8::100、プレフィックス長を 64 に設定する

```
msh> ifconfig ether inet6 2001:DB8::100 64
```

♦ **ネットマスクの設定**

```
msh> ifconfig インターフェース名 netmask アドレス
```

(例) イーサネットインターフェースのサブネットマスクを 255.255.255.0 に設定する

```
msh> ifconfig ether netmask 255.255.255.0
```

♦ **ブロードキャストアドレスの設定**

```
msh> ifconfig インターフェース broadcast アドレス
```

♦ **インターフェース切り替え**

```
msh> ifconfig インターフェース名 up
```

（例）接続時にイーサネットを使用する

```
msh> ifconfig ether up
```

補足

・設定するアドレスはネットワーク管理者に確認してください。
・アドレスを 16 進形式で設定する場合は先頭に「0x」を付けてください。

6

info

給紙トレイ、排紙トレイ、およびエミュレーションなどの機器情報の表示は、info コマンドを使用します。

♦ **機器情報の表示**

```
msh> info
```

参照

・P.229 「ネットワーク経由で確認できる情報」

ipp

IPPの使用環境の設定は、IPPコマンドを使用します。

♦ **現在の設定値の表示**

```
msh> ipp
```

♦ **タイムアウトの設定**

```
msh> ipp timeout {30 - 65535}
```

・印刷データが途切れた場合に、印刷ジョブを取り消すまでの時間を指定します。設定範囲は30〜65535秒です。

♦ **IPPユーザー認証方式の設定**

```
msh> ipp auth {basic|digest|off}
```

・IPPユーザー認証を行って、IPPを使って印刷できるユーザーを制限することができます。工場出荷時はユーザー設定を行わない設定になっています。
・basicまたはdigestで、認証を行います。
・ユーザー認証を行うように指定した場合、ユーザー名の登録を行ってください。ユーザーは10組まで登録できます。

♦ **IPPユーザー名の登録**

```
msh> ipp user
```

次のメッセージが表示されます。

```
msh> Input user number (1 to 10):
```

設定するユーザー番号を入力し、ユーザー名とパスワードを指定します。

```
msh> IPP user name:user1
msh> IPP password:*******
```

ユーザー名とパスワードが設定されると次のメッセージが表示されます。

```
User configuration changed
```

ipv6

IPv6の使用環境の表示、設定は、ipv6コマンドを使用します。

♦ **現在の設定の表示**

```
msh> ipv6
```

6

♦ **ステートレスアドレスの有効／無効設定**

```
msh> ipv6 stateless {on|off}
```

・「on」に設定すると、本体の電源を ON にした時にルータに対してステートレスアドレス生成に必要な情報を要求します。また、その後もルータから送信させる定期的な情報を取得し、本体のステートレスアドレスの有効期間を更新します。

lpr

LPR の使用環境の表示、設定は、lpr コマンドを使用します。

♦ **現在の設定の表示**

```
msh> lpr
```

♦ **ジョブ削除時におけるホストの同一性チェックの有効／無効設定**

```
msh> lpr chkhost {on|off}
```

・「on」に設定すると、ジョブを送信したホストの IP アドレスからのみジョブを削除することができます。無効の場合には、ジョブを送信したホストの ＩＰ アドレス以外からもジョブの削除が可能となります。

netware

プリントサーバ名、ファイルサーバ名などの Netware 関連の設定は、netware コマンドを使用します。

♦ **Netware プリントサーバ名の設定**

```
msh> netware pname 文字列
```

・Netware プリントサーバ名を 47 文字以下で指定します。

♦ **Netware ファイルサーバ名の設定**

```
msh> netware fname 文字列
```

・Netware ファイルサーバ名を 47 文字以下で指定します。

♦ **encap タイプの設定**

```
msh> netware encap {802.3|802.2|snap|ethernet2|auto}
```

♦ **リモートプリンタ番号の設定**

```
msh> netware rnum {0 - 254}
```

♦ **タイムアウト値の設定**

```
msh> netware timeout {3 - 255}
```

♦ **プリントサーバーモードへの設定**

```
msh> netware mode pserver
msh> netware mode ps
```

♦ **リモートプリンタモードへの設定**

```
msh> netware mode rprinter
msh> netware mode rp
```

♦ **NDS コンテキスト名の設定**

```
msh> netware context 文字列
```

♦ **SAPインターバル値の設定**
```
msh> netware sap_interval {0-3600}
```

♦ **ログインモードをファイルサーバ指定に設定**
```
msh> netware login server
```

♦ **ログインモードをNDSツリー指定に設定**
```
msh> netware login tree
```

♦ **ログインするNDSツリー名の設定**
```
msh> netware tree NDSツリー名
```

passwd

リモートメンテナンスのパスワードの変更は、passwdコマンドを使用します。

♦ **パスワードの変更**
```
msh> passwd
```
・[Old password:]が表示されるので、現在のパスワードを入力します。
・[New password:]が表示されるので、新しいパスワードを入力します。
・[Retype new password:]が表示されるので、もう一度新しいパスワードを入力します。

♦ **スーパーバイザーによる管理者のパスワード変更**
```
msh> passwd 管理者ID
```
・管理者のパスワードを削除、または新規設定することができます。
・[New password:]が表示されるので、新しいパスワードを入力します。
・[Retype new password:]が表示されるので、もう一度新しいパスワードを入力します。

補足

・パスワードは控えを取るなどして忘れないようにしてください。
・入力できるのは半角英数字と表示可能な半角記号で3〜8バイトの範囲です。大文字と小文字も区別されます。

pathmtu

PathMTU Discoveryサービス機能の表示、設定は、pathmtuコマンドを使用します。

♦ **現在の設定表示**
```
msh> pathmtu
```

♦ **PathMTU Discoveryサービス有効/無効の切替設定**
```
msh> pathmtu {on|off}
```
・工場出荷時は「ON」になっています。
・送信データのMTUサイズが、ルータのMTUより大きいと、ルータから通過不可と通知され、送信に失敗することがあります。「ON」に設定をしていると、MTUサイズを最適化してデータ送信の失敗を避けることができます。
・環境によってはルータからの通知が得られず、データ送信に失敗することがあります。その場合は「OFF」に設定してください。

prnlog

プリントログ情報の表示は、prnlog コマンドを使用します。

♦ プリントログ情報の表示

```
msh> prnlog
```

・これまでに印刷したプリントログ情報が表示されます。

```
msh> prnlog {ID 番号 }
```

・表示されたプリントログ情報の ID 番号を指定すると、印刷ジョブのさらに詳しい情報が表示されます。

参照

・P.229 「ネットワーク経由で確認できる情報」

route

TCP/IP ルーティングテーブルの表示、設定は、route コマンドを使用します。

♦ IPv4 の該当 route 情報の表示

```
msh> route get {destination}
```

・destination は IPv4 のアドレスを指定します。destination が 0.0.0.0 のアドレスは指定できません。
・destination を指定しない場合は、すべての route 情報を表示します。

♦ 指定された IPv4 の destination の有効／無効の切り替え設定

```
msh> route active {host|net} {destination} {on|off}
```

・{host | net} 省略時は host 設定となります。

♦ IPv4 のルーティングテーブルへの追加設定

```
msh> route add {host|net} {destination} {gateway}
```

・destination で表される host（または network）ルートおよび gateway で表されるゲートウェイアドレスをテーブルに追加します。
・destination および gateway は IPv4 のアドレスを指定します。
・{host | net} 省略時は host 設定となります。

♦ IPv4 のデフォルトゲートウェイアドレスの設定

```
msh> route add default {gateway}
```

♦ IPv4 のルーティングテーブルからの削除設定

```
msh> route delete {host|net} {destination}
```

・{host | net} 省略時は host 設定となります。
・destination は IPv4 のアドレスを指定します。

♦ IPv6 のデフォルトゲートウェイアドレスの設定

```
msh> route add6 default {gateway}
```

♦ 指定された IPv6 の destination のルーティングテーブルへの追加設定

```
msh> route add6 {destination} prefixlen {gateway}
```

・destination および gateway は IPv6 のアドレスを指定します。

♦ **指定された IPv6 の destination のルーティングテーブルからの削除設定**

```
msh> route delete6 {destination} prefixlen
```

・destination および gateway は IPv6 のアドレスを指定します。

♦ **IPv6 の該当 route 情報の表示**

```
msh> route get6 {destination}
```

・destination は IPv6 のアドレスを指定します。

♦ **指定された IPv6 の destination の有効／無効の切り替え設定**

```
msh> route active6 {destination} prefixlen {on|off}
```

♦ **全 route 情報の削除設定**

```
msh> route flush
```

補足

・IPv4 のルーティングテーブルの最大値は 16 です。
・IPv6 のルーティングテーブルの最大値は 2 です。
・ルーターを越えて別のネットワークのネットワーク機器とやりとりするときは、ゲートウェイアドレスを設定してください。
・ゲートウェイアドレスはすべてのインターフェース共通になります。
・Prefixlen は 1〜128 の 10 進数です。

set

プロトコルの情報の表示、有効／無効の設定は、set コマンドを使用します。

♦ **プロトコルの情報（有効／無効）の表示**

```
msh> set ipv4
msh> set ipv6
msh> set appletalk
msh> set netware
msh> set smb
msh> set protocol
```

・protocol を指定すると、ipv4、ipv6、appletalk、netware、smb、pictbridge の情報を表示します。

```
msh> set lpr
msh> set lpr6
msh> set ftp
msh> set ftp6
msh> set rsh
msh> set rsh6
msh> set diprint
msh> set diprint6
msh> set web
msh> set snmp
msh> set ssl
msh> set ssl6
msh> set nrs
```

```
msh> set rfu
msh> set rfu6
msh> set ipp
msh> set ipp6
msh> set http
msh> set http6
msh> set bonjour
msh> set nbt
msh> set ssdp
msh> set bmlinks
msh> set ssh
msh> set sftp
msh> set sftp6
```

♦ プロトコルの有効／無効の設定

・プロトコルを有効にするには up を、無効にするには down を指定します。

```
msh> set ipv4 {up|down}
```

・IPv4 でのみ通信可能の状態で IPv4 を無効に設定してログアウトすると、このリモートメンテナンスそのものが使用できなくなります。誤って「無効」に設定したときは、機器の操作部を使って設定し直してください。

・IPv4 を無効にすると、lpr、ftp、sftp、rsh、diprint、web、snmp、ssl、ipp、http、bonjour も使用できなくなります。

```
msh> set ipv6 {up|down}
```

・IPv6 でのみ通信可能の状態で IPv6 を無効に設定してログアウトすると、このリモートメンテナンスそのものが使用できなくなります。誤って「無効」に設定したときは、機器の操作部を使って設定し直してください。

・IPv6 を無効にした場合、lpr6、ftp6、rsh6、diprint6、ssl6、rfu6、ipp6、http6、sftp6 も使用できなくなります。

```
msh> set appletalk {up|down}
msh> set netware {up|down}
msh> set smb {up|down}
msh> set lpr {up|down}
msh> set lpr6 {up|down}
msh> set ftp {up|down}
msh> set ftp6 {up|down}
msh> set rsh {up|down}
msh> set rsh6 {up|down}
msh> set diprint {up|down}
msh> set diprint6 {up|down}
msh> set web {up|down}
msh> set snmp {up|down}
msh> set ssl {up|down}
msh> set ssl6 {up|down}
msh> set nrs {up|down}
msh> set rfu {up|down}
msh> set rfu6 {up|down}
```

```
msh> set ipp {up|down}
msh> set ipp6 {up|down}
msh> set http {up|down}
msh> set http6 {up|down}
msh> set bonjour {up|down}
msh> set ssh {up|down}
msh> set ssdp {up|down}
msh> set bmlinks {up|down}
msh> set nbt {up|down}
msh> set sftp {up|down}
msh> set sftp6 {up|down}
```

show

ネットワークインターフェースボードの設定状況の表示は、show コマンドを使用します。

♦ 現在の設定値の表示

```
msh> show
```

- -p オプションを付けると 1 画面ずつ表示されます。
- SMB　プロトコルでコンピュータ名、ワークグループ、コメントを日本語で入力したデータを正しく表示するためには、シフト JIS が表示できる環境で使用してください。

参照

- P.234 「ネットワークインターフェースボードの情報」

slp

SLP の設定を変更するには、slp コマンドを使用します

```
msh> slp ttl ttl_val
```

- NetWare 5/5.1 の PureIP 環境でご使用の場合、SLP を用いて NetWare サーバを検索します。slp コマンドを使うと、SLP マルチキャストパケットが使用する TTL 値 (通過できるルーターの数+1) を指定できます。
- 工場出荷時の設定は 1 です。ローカルセグメント内のみで検索します。ただしこの TTL 値を増やした場合でもネットワーク環境で使用のルーター装置がマルチキャスト対応していなければ有効ではありません。
- 設定できる SLP パケットの TTL 値は 1〜255 です。

smb

コンピュータ名やワークグループ名など SMB 関連の項目の設定、削除は、smb コマンドを使用します。

♦ コンピュータ名の設定

```
msh> smb comp コンピュータ名
```

6

・「コンピュータ名」を英数半角 15 文字以下で設定します。RNP または rnp ではじまる名前は設定できません。

♦ ワークグループ名の設定

msh> smb group ワークグループ名

・「ワークグループ名」を英数半角 15 文字以下で設定します。

♦ コメントの設定

msh> smb comment コメント

・「コメント」を英数半角 31 文字以下で設定します。

♦ 印刷完了通知の設定

```
msh> smb notif {on | off}
```

・印刷完了通知をする場合は「on」、通知をしない場合は「off」を指定します。

♦ コンピュータ名の削除

```
msh> smb clear comp
```

♦ グループ名の削除

```
msh> smb clear group
```

♦ コメントの削除

```
msh> smb clear comment
```


♦ プロトコルの表示

```
msh> smb protocol [netbeui {up | down} | tcpip {up | down}]
```

・NetBEUI、および TCP/IP プロトコルの有効／無効を指定します。有効にする場合は「up」、無効にする場合は「down」を指定します。

snmp

コミュニティ名など SNMP に関する表示、設定は、snmp コマンドを使用します。

♦ 現在の設定の表示

```
msh> snmp
```

・登録番号 1 の工場出荷時の設定は次のとおりです。
　コミュニティ名：public
　IPv4 アドレス：0.0.0.0
　IPv6 アドレス：::
　IPX アドレス：00000000:000000000000
　アクセスタイプ：read-only
　有効プロトコル：IPv4/IPv6/IPX
・登録番号 2 の工場出荷時の設定は次のとおりです。
　コミュニティ名：admin
　IPv4 アドレス：0.0.0.0
　IPv6 アドレス：::
　IPX アドレス：00000000:000000000000
　アクセスタイプ：read-write
　有効プロトコル：IPv4/IPv6/IPX
・-p オプションを付けると 1 画面ずつ表示されます。

・登録番号を指定すると、その番号の現在のコミュニティ設定内容を表示します。

♦ SNMP情報と使用可能なプロトコルの表示

```
msh> snmp ?
```

♦ コミュニティ名の設定

```
msh> snmp 登録番号 name コミュニティ名
```

- 設定できる登録番号は1〜10です。
- 登録番号の1〜10にpublicが存在しない場合、Infoprint AdministratorやInfoprint Navigatorから機器を参照することはできません。コミュニティ名を変更した場合、Infoprint Administratorとともにインストールされる「SNMPコミュニティ名設定ツール」で、機器側の設定に合わせてパソコンのコミュニティ名を変更してください。
- コミュニティ名は英数半角15文字以下で設定します。

♦ コミュニティ名の削除

```
msh> snmp 登録番号 clear name
```

♦ アクセスタイプの設定

```
msh> snmp 登録番号 type アクセスタイプ
```

アクセスタイプ	設定される内容
no	アクセスできません (not accessible)
read	情報の読み出しのみ可能 (read-only)
write	情報の読み出しと書き込みが可能 (read-write)
trap	エラー情報を通知 (trap)

♦ プロトコルの設定

```
msh> snmp {ipv4|ipv6|ipx} {on|off}
```

- 使用可能なプロトコルを選択します。
- プロトコルを有効にするにはonを、無効にするにはoffを指定します。
- すべてのプロトコルを同時にOffにすることはできません。

♦ 登録番号ごとのプロトコルの設定

```
msh> snmp 登録番号 active {ipv4|ipv6|ipx} {on|off}
```

- 登録番号ごとにプロトコルの設定を変更します。ただし、プロトコル設定で無効にしたプロトコルは、このコマンドで有効にしても使用できません。

♦ アクセス設定

```
msh> snmp 登録番号 {ipv4|ipv6|ipx} アドレス
```

- 使用するプロトコルに応じたホストのアドレスを設定します。
- 「アクセスタイプ」を「read-only」または「read-write」に設定したときは、IPv4、IPv6、IPXの場合、ここに入力したアドレスのホストからの要求だけを受け付けます。どのホストからの要求でも受け付けるようにするには、「0」を入力します。
- 「アクセスタイプ」を「trap」に設定したときは、IPv4、IPv6、IPXの場合、情報を通知するホストのアドレスを入力します。
- IPv4を使用するときはアドレスとしてIPv4アドレスを、IPv6を使用するときはIPv6アドレスを、IPX/SPXを使用するときはIPXアドレスを入力します。

・IPX アドレスはホストが接続されているネットワークの番号とホストに取り付けられているネットワークインターフェースボードの MAC アドレス（物理アドレス）をコロン（:）で区切って入力します。

♦ **sysLocation の設定**

```
msh> snmp location 文字列
```

♦ **sysLocation の削除**

```
msh> snmp clear location
```

♦ **sysContact の設定**

```
msh> snmp contact 文字列
```

♦ **sysContact の削除**

```
msh> snmp clear contact
```

♦ **SNMP V1V2 機能の設定**

```
msh> snmp v1v2 {on | off}
```

・有効にする場合は on、無効にする場合は off を指定します。

♦ **SNMP V3 機能の設定**

```
msh> snmp v3 {on | off}
```

・有効にする場合は on、無効にする場合は off を指定します。

♦ **SNMP TRAP の設定**

```
msh> snmp trap {v1 | v2 | v3} {on | off}
```

・有効にする場合は on、無効にする場合は off を指定します。

♦ **リモート設定許可の設定**

```
msh> snmp remote {on | off}
```

・有効にする場合は on、無効にする場合は off を指定します。

♦ **SNMP V3 TRAP の設定値の表示**

```
msh> snmp v3trap
msh> snmp v3trap {1- 5}
```

・1〜5 までの数字を設定すると、その番号の設定値のみ表示します。

♦ **SNMP V3 TRAP 送信先アドレスの設定**

```
msh> snmp v3trap {1-5} {ipv4|ipv6|ipx} アドレス
```

♦ **SNMP V3 TRAP 送信プロトコルの設定**

```
msh> snmp v3trap {1-5} active {ipv4|ipv6|ipx} {on|off}
```

♦ **SNMP V3 TRAP ユーザーアカウントの設定**

```
msh> snmp v3trap {1- 5} account アカウント名
```

・アカウント名は英数半角 32 文字以下で設定します。

♦ **SNMP V3 TRAP ユーザーアカウントの削除**

```
msh> snmp v3trap {1- 5} clear account
```

♦ **SNMP V3 暗号アルゴリズムの設定**

```
msh> snmp v3auth {md5 | sha1}
```

♦ **SNMP V3 暗号化の設定**

```
msh> snmp v3priv {auto | on}
```

・autoを設定すると、暗号化可能な場合に暗号化されます。
・onを設定すると、平文通信は不可能となり、暗号化可能な場合のみ通信ができます。

補足

・暗号化可能な場合とは、暗号パスワードが設定されていることです。

sntp

SNTPの設定は、sntpコマンドを使用します。

♦ 現在の設定の表示

```
msh> sntp
```

♦ NTPサーバーアドレスの設定

```
msh> sntp server アドレス
```

♦ インターバルの設定

```
msh> sntp interval インターバル値
```

・設定したNTPサーバーと同期を取る間隔を指定します。工場出荷時の設定値は60（分）です。
・設定できる値は0、15〜10080（分）です。
・0を設定した場合には、本機の電源を入れたときに一度だけNTPサーバーと同期を取ります。そのあとは同期を取りません。

♦ タイムゾーンの設定

```
msh> sntp timezone +/-時間
```

・NTPサーバーから取得した時刻情報との時間差を設定します。設定値は－12:00〜＋13:00です。

spoolsw

スプール印刷の設定は、spoolswコマンドを使用します。スプール印刷設定はdiprint、lpr、ipp、SMB（TCP/IP(IPv4)）、BMLinkS、ftpおよびsftpプロトコルに対応しています。

♦ 現在の設定の表示

```
msh> spoolsw
```

♦ スプール印刷機能の設定

```
msh> spoolsw spool {on | off}
```

・スプール印刷機能を有効にするにはonを、無効にするにはoffを指定します。

♦ ジョブの初期化の設定

```
msh> spoolsw clear job {on | off}
```

・本機の電源がスプールされたジョブの印刷中に切られた場合、本機の電源再投入時に、それまでスプールしていたジョブを印刷しなおすかどうか指定します。

♦ **プロトコルの設定**

```
msh> spoolsw diprint {on | off}
msh> spoolsw lpr {on | off}
msh> spoolsw ipp {on | off}
msh> spoolsw smb {on | off}
msh> spoolsw bmlinks {on | off}
msh> spoolsw ftp {on | off}
msh> spoolsw sftp {on|off}
```

・プロトコルごとにスプール印刷機能の有効、無効を設定します。

補足

・スプール印刷設定の spoolsw コマンドは、本機にハードディスクが装着されている場合に有効になります。

ssdp

SSDP 関連パラメータの表示、設定は、ssdp コマンドを使用します。

♦ **現在の設定の表示**

```
msh> ssdp
```

♦ **有効時間の設定**

```
msh> ssdp profile {1801-86400}
```

・工場出荷時の設定値は 10800（秒）です。

♦ **Advertise パケットの TTL の設定**

```
msh> ssdp ttl {1-255}
```

・工場出荷時の設定値は 4 です。

ssh

SSH および SFTP 関連パラメータの表示と設定は、ssh コマンドを使用します。

♦ **現在の設定の一覧表示**

```
msh> ssh
```

♦ **データ圧縮通信の設定**

```
msh> ssh compression {on|off}
```

・工場出荷時の設定値は on です。

♦ **ssh ／ sftp で通信するポートの設定**

```
msh> ssh port {22, 1024-65535}
```

・工場出荷時の設定値は 22 です。

♦ **ssh ／ sftp で通信する際のタイムアウト確認 (生存確認) の時間設定**

```
msh> ssh timeout {0-65535}
```

・工場出荷時の設定値は 300 です。

♦ ssh ／ sftp で通信する際のログインタイムアウトの時間設定

```
msh> ssh logintimeout {0-65535}
```

・工場出荷時の設定値は 300 です。

♦ ssh ／ sftp で通信する際の公開鍵、公開鍵鍵長（Keylength）の作成

```
msh> ssh genkey {512|768|1024} 複雑化文字列
```

・工場出荷時の設定値は公開鍵鍵長（Keylength）が 1024、複雑化文字列（Salt）は NULL（無）です。

♦ ssh ／ sftp で通信する際の公開鍵の削除

```
msh> ssh delkey
```

補足

・設定値を省略した場合は、現在の設定を表示します。

status

本機の状態（ステータス）と印刷ジョブの情報（プリントジョブ情報）の表示は、status コマンドを使用します。

♦ 表示

```
msh> status
```

参照

・P.229 「ネットワーク経由で確認できる情報」

syslog

本機のシステムログ情報として記録されたメッセージの表示は、syslog コマンドを使用します。

♦ メッセージの表示

```
msh> syslog
```

参照

・P.241 「システムログ情報」

upnp

ユニバーサル プラグ アンド プレイに関する表示、設定は、upnp コマンドを使用します。

♦ 公開 URL の表示

```
msh> upnp
```

♦ 公開 URL の設定

```
msh> upnp url 文字列
```

・「文字列」には URL 文字列を入力します。

web

Web Image Monitor 関連の表示、設定は、web コマンドを使用します。

◆ **現在の設定の表示**

```
msh> web
```

◆ **リンク先として登録する URL の設定**

```
msh> web x url http:// リンク先の URL または IP アドレス /
```

・x は対象番号の 1〜2 を指定します。2 件まで登録できます。

◆ **リンク先として登録されている URL の削除**

```
msh> web x clear url
```

・x は対象 ID の 1〜2 を指定します。

◆ **リンク先として登録する URL のリンク名の設定**

```
msh> web x name リンク名
```

・x は対象 ID の 1〜2 を指定します。

◆ **リンク先として登録されている URL のリンク名の削除**

```
msh> web x clear name
```

・x は対象 ID の 1〜2 を指定します。

◆ **ヘルプの参照先 URL の設定**

```
msh> web help http:// ヘルプの URL または IP アドレス
```

◆ **ヘルプの参照先 URL の削除**

```
msh> web clear help
```

wins

WINS サーバーの設定は、wins コマンドを使用します。

◆ **現在の設定の表示**

```
msh> wins
```

・DHCP から取得した IPv4 アドレスと WINS の IPv4 アドレスが異なった場合、DHCP から取得した IPv4 アドレスが有効です。
・DHCP から取得した IP アドレスと WINS の IP アドレスが異なった場合、DHCP から取得した IP アドレスが有効です。

◆ **WINS 機能の設定**

```
msh> wins インターフェース {on|off}
```

・WINS 機能を有効するには on を、無効にするときは off を指定します。
・インターフェースを必ず指定してください。

インターフェース	設定されるインターフェース
ether	イーサネットインターフェース

◆ **WINS サーバーのアドレス設定**

```
msh> wins インターフェース {primary|secondary} IP アドレス
```

・primaryでプライマリWINSサーバのアドレスを設定できます。
・secondaryでセカンダリWINSサーバのアドレスを設定できます。
・IPアドレスに、255.255.255.255は指定できません。

◆ NBT（NetBIOS over TCP/IP）スコープIDの設定

```
msh> wins インターフェース scope スコープID
```

・スコープIDは半角英数字31文字以内で指定します。
・インターフェースを必ず指定してください。

インターフェース	設定されるインターフェース
ether	イーサネットインターフェース

SNMP

SNMP を使って本機の情報を取得する方法の説明です。
また、本機はユーザー認証、データの暗号化、アクセス制御のセキュリティ面が強化されている SNMPv3 にも対応しています。
SNMPv3 の暗号化通信を使用するためには、本機にセキュリティオプションが装着されていることと、暗号パスワードが設定されていることが必要です。

重要

- この機能はネットワーク接続をしているときに使用できます。
- 本機のコミュニティ名を工場出荷時から変更した場合、Infoprint Administrator に同梱されている SNMP コミュニティ名設定ツールを使用して接続するパソコンの設定を変更してください。詳しくは SNMP コミュニティ名設定ツールのヘルプを参照してください。

工場出荷時のコミュニティ名には「public」と「admin」が設定されています。このコミュニティ名で MIB 情報を取得することができます。

♦ SNMP コミュニティ名設定ツールの起動

- Windows 98/Me, Windows 2000 の場合は、[スタート] ボタンをクリックし [プログラム] から [Infoprint Administrator] をポイントして [SNMP コミュニティ名設定ツール] を起動します。
- Windows XP, Windows Server 2000 の場合は、[スタート] ボタンをクリックし [すべてのプログラム] から [Infoprint Administrator] をポイントして [SNMP コミュニティ名設定ツール] を起動します。

参照

- P.11 「お使いになる前に」

6

ネットワーク経由で確認できる情報

機器の状態や情報を表示したときの各項目の詳細です。

重要

・この機能はネットワーク接続をしているときに使用できます。

機器の状態

機器のステータスの確認方法と、表示される項目の説明です。お使いの機種によっては、表示されないステータスがあります。

・UNIX の場合
lpq コマンド、rsh、rcp、ftp の stat パラメータを使います。

・mshell の場合
status コマンドを使います。

ステータス	意味
Call Service Center	エンジン部、またはコントローラー部に異常が発生しました。
Canceling Job...	ジョブリセット中です。
Cannot multi-install: SD Card	SD カードが、他の機器にインストール済みです。2 重にインストールすることはできません。
Configuring...	設定変更中です。
Cover Open: Duplex Unit	両面ユニットのカバーが開いています。
Cover Open: Front Cover	本体前カバーが開いています。
Cover Open: Paper Exit	本体排紙口カバーが開いています。
Cover Open: Rear Cover	本体後ろカバーが開いています。
Empty: Black Toner	ブラックトナーがなくなりました。
Energy Saver Mode	省エネモード中です。
Envelope Lever: At Env./Thick	封筒レバーの位置が封筒位置にあります。
Error: Ethernet Board	イーサーネットボードに異常が発生しました。
Error: Board	ハードディスクエラーが発生しました。
Error: Optional Font	プリンターのフォントファイルにエラーが発生しました。
Error: Optional RAM	オプションの SDRAM モジュールにエラーが発生しました。
Error: Parallel I/F Board	パラレルインターフェースにエラーが発生しました。
Error: PDL	ページ記述言語にエラーが発生しました。
Error: Rem. Certificate Renewal	証明書の自動更新中にエラーが発生しました。

ステータス	意味
Error: USB Board	オプションの USB ホストボードにエラーが発生しました。
Error: USB Interface	USB インターフェースにエラーが発生しました。
Full: Standard Tray	本体排紙トレイが満杯です。
Full: Waste Toner	廃トナーが満杯です。
Hex Dump Mode	ヘキサダンプモード中です。
Independent-supplier Toner	純正でないトナーがセットされています。
In Use: Input Tray	給紙トレイが使用中です。
Job Suspended	一時停止中です。
Low: Toner	黒トナーが残り少なくなりました。
Mismatch: Paper Size	選択された給紙トレイのサイズが、指定されたものと異なります。
Mismatch: Paper Size and Type	選択された給紙トレイの用紙種類とサイズが、指定されたものと異なります。 または、自動トレイ選択を指定しているとき、指定の用紙種類とサイズがありません。
Mismatch: Paper Type	選択された給紙トレイの用紙種類が、指定されたものと異なります。
Nearly Full: Waste Toner	廃トナーがもうすぐ満杯です。
No Paper: Selected Tray	指定されたトレイに用紙がありません。
No Paper: Tray 1	トレイ 1 に用紙がありません。
No Paper: Tray 2	トレイ 2 に用紙がありません。
No Paper: Tray 3	トレイ 3 に用紙がありません。
No Paper: Tray 4	トレイ 4 に用紙がありません。
Not Detected: Fusing Unit	定着ユニットが正しくセットされていません。
Not Detected: Input Tray	給紙トレイが正しくセットされていません。
Not Detected: PCU (K)	感光体ユニット（ブラック）が正しくセットされていません。
Not Detected: Tray 1	トレイ 1 が正しくセットされていません。
Not Detected: Tray 2	トレイ 2 が正しくセットされていません。
Not Detected: Tray 3	トレイ 3 が正しくセットされていません。
Not Detected: Tray 4	トレイ 4 が正しくセットされていません。
Offline	プリンターがオフライン状態です。
Paper Misfeed: Duplex Unit	両面ユニットで紙づまりが発生しました。
Paper Misfeed: Input Tray	給紙トレイで紙づまりが発生しました。
Paper Misfeed: Internal/Output	本体内部で紙づまりが発生しました。
Paper Misfeed: Output Tray	本体排紙部で紙づまりが発生しました。

ステータス	意味
Printing	印刷中またはデータ受信中です。
Processing	データ処理中です。
Proxcy User/Password Incorrect	プロキシユーザー名またはパスワードが不正です。
Proxcy Address/Port Incorrect	プロキシアドレス、またはポート番号が不正です。
Ready	使用可能です。
Renewing Remote Certificate	リモートビス証明書を更新中です。
Replace Maintenance Kit	メンテナンスキットの交換時期です。
SD Card Authentication failed	SD カードからの認証に失敗しました。
SD Card not inserted	SD カードがセットされていません。
Tray Error: Duplex Printing	両面禁止トレイに両面印刷を指定したため、両面印刷設定トレイエラーが発生しました。
Warming Up...	準備中です。

補足

- エラーの内容は、システム設定リストや印刷条件一覧に印刷される場合があります。あわせてご確認ください。印刷方法については、「テスト印刷メニュー」を参照してください。

参照

- P.11 「お使いになる前に」
- P.140 「テスト印刷メニュー」
- P.225 「status」
- P.281 「本機の状態表示」

機器情報

機器の給紙トレイ、排紙トレイ、搭載しているエミュレーション、および登録しているプログラムの情報の確認方法と、項目の説明です。

- UNIX の場合
  rsh、rcp、ftp、sftp の info パラメータを使います。
- mshell の場合
  info コマンドを使います。

Input Tray

項目名	内容
No.	ご使用の機器に装着されている給紙トレイ番号が表示されます。
Name	ご使用の機器に装着されている給紙トレイ名称が表示されます。

項目名	内容
PageSize	ご使用の機器に装着されている給紙トレイに設定されている用紙サイズが表示されます。
Status	給紙トレイの状態が表示されます。 ・Normal：正常 ・NoInputTray：トレイなし ・PaperEnd：用紙なし

Output Tray

項目名	内容
No.	ご使用の機器に装着されている排紙トレイ番号が表示されます。
Name	ご使用の機器に装着されている排紙トレイ名称が表示されます。
Status	排紙トレイの状態が表示されます。 ・Normal：正常 ・PaperExist：用紙あり ・OverFlow：用紙が満杯 ・Error：その他エラー

Emulation

項目名	内容
No.	ご使用の機器に装備されているエミュレーション番号が表示されます。
Name	ご使用の機器に装備されているエミュレーション名が表示されます。
Version	ご使用の機器に装備されている、各エミュレーションのヴァージョンが表示されます。

参照

- P.11 「お使いになる前に」
- P.213 「info」
- P.281 「本機の状態表示」

取得情報の内容

ネットワークインターフェースボードから取得するできる情報の詳細です。

重要

- この機能はネットワーク接続をしているときに使用できます。

プリントジョブ情報

印刷待ちジョブの情報の確認方法と、表示される項目の説明です。

- UNIX の場合
  lpq コマンド、rsh、rcp、ftp、sftp の stat パラメーターを使います。
- mshell の場合
  status コマンドを使います。

項目名	意味
Rank	印刷ジョブの状態が表示されます。 ・Active 印刷中、または印刷処理待ち状態 ・1st、2nd、3rd、4th... プリンターへのファイル転送待ち状態
Owner	印刷要求元のログインユーザー名が表示されます。
Job	印刷要求番号が表示されます。
Files	ファイル名が表示されます。
Total Size	印刷ジョブのデータサイズが表示されます。[*1]

[*1] 複数のファイルを 1 ジョブとして投入した場合は、先頭ファイルのサイズが表示されます。

参照

- P.11 「お使いになる前に」
- P.225 「status」
- P.281 「本機の状態表示」

6

プリントログ情報

これまでに印刷した過去20件分のジョブの記録の確認方法と､表示される項目の説明です。

- UNIX の場合
  rsh、rcp、ftp、sftp の prnlog パラメーターを使います。
- mshell の場合
  prnlog コマンドを使います。

項目名	意味
ID	印刷要求番号が表示されます。
User	印刷要求元のユーザー名、ワークステーション名、またはアドレスが表示されます。
Page	印刷したページ数が表示されます。
Result	通信結果が表示されます。 ・Finished 通信上、印刷要求は正常に終了しました。ただしプリンター側の問題で印刷が正常に終了していない場合があります。 ・Failed 印刷が正常に終了しませんでした。 ・Canceled rcp、rsh、lpr コマンドの印刷要求が中止されました。印刷アプリケーションにより発生する場合があります。ftp、sftp、rprinter では発生しません。
Time	印刷要求受け付け時間が表示されます。

参照

- P.216 「prnlog」
- P.281 「本機の状態表示」

ネットワークインターフェースボードの情報

ネットワークインターフェースボードの設定内容の確認方法と、表示される項目の説明です。お使いの機種によっては、表示されない項目があます。

- mshell の場合
  show コマンドを使います。

項目名	意味
Common	
Mode	
Protocol Up/Down	プロトコル利用設定
AppleTalk	

項目名	意味
IPv4 IPv6 NetWare SMB PictBridge Device Up/Down Parallel USB Ethernet interface Syslog priority NVRAM version Device name Comment Location Contact Soft switch	デバイス利用設定
AppleTalk Mode Net Object Type Zone	AppleTalk 関連設定
TCP/IP Mode(IPv4) Mode(IPv6) ftp lpr rsh telnet diprint web http ftpc snmp	TCP/IP のポートアドレスなどの設定

項目名	意味
ipp	
autonet	
bonjour	
ssl	
nrs	
rfu	
nbt	
ssdp	
bmlinks	
ssh	
sftp	
IPv4	
DHCP	
Address	
Netmask	
Broadcast	
Gateway	
IPv6	
Stateless	
Manual	
Gateway	
EncapType	
Host name	
DNS Domain	
Access Control	アクセス制限設定
IPv4	
AccessEntry [X]	X は 1~5 まで設定できます。
IPv6	
AccessEntry [X]	X は 1~5 まで設定できます。
Time server	時刻関連設定
Time Zone	
Time server polling time	
SYSLOG server	
Home page URL1	WebSys 関連の設定

項目名	意味
Home page link name1 Home page URL2 Home page link name2 Help page URL	
NetWare EncapType RPRINTER number Print server name File server name Context name Switch Mode NDS/Bindery Packet negotiation Login Mode Print job timeout Protocol SAP interval time NDS Tree Name Transfer Protocol	Netware 設定
SMB Switch Mode Direct print Notification Workgroup name Computer name Comment Share name[1] Protocol	SMB 動作／設定
SCSI print Bidi	
DNS IPv4	DNS 動作／設定

項目名	意味
Server[X] Selected IPv4 DNS Server IPv6 Server[X]	X は 1~3 まで設定できます。 X は 1~3 まで設定できます。
Domain Name ether wlan	
DDNS ether wlan	
WINS ether Primary WINS Secondary WINS wlan Primary WINS Secondary WINS	WINS 動作／設定
SSDP UUID Profile TTL	SSDP 動作／設定
BMLinkS Plain Only Paused Print Timeout Device Name Country Organization Branch Building Floor Block	BMLinkS 動作／設定
UPnP URL	UPnP 動作／設定

項目名	意味
Bonjour Computer Name(cname) Local Hostname (ether) Local Hostname (wlan) Location Priority (diprint) Priority (lpr) Priority (ipp) IP TTL LinkLocal Route for Multi I/F IPP Port	Bonjour（Rendezvous）動作／設定
SNMP SNMPv1v2 SNMPv3 protocol v1Trap v2Trap v3Trap SNMPv1v2 Remote Setting SNMPv3 Privacy	SNMP 動作／設定
ssh Compression Port TimeOut LoginTimeOut	ssh 動作／設定
AuthFree IPv4 AuthFreeEntry[X] IPv6 AuthFreeEntry[X] Parallel USB	認証除外動作／設定 X は 1～5 まで設定できます。 X は 1～5 まで設定できます。
LPR lprm check host lpr prnerrchk	

6

項目名	意味
Certificate Verification	
Shell mode	リモートメンテナンスツールのモード

メッセージ一覧

プリンターのシステムログ情報として記録されるメッセージと、ユーティリティやコマンドの使用時に表示されるメッセージの一覧です。

★重要

・この機能はネットワーク接続をしているときに使用できます。

システムログ情報

システムログ情報の確認方法と、表示される項目の説明です。
・UNIX の場合
  rsh、rcp、ftp、sftp の syslog パラメーターを使います。
・mshell の場合
  syslog コマンドを使います。

Access to NetWare server < **ファイルサーバ名** > denied. Either there is no account for this print server on the NetWare server on the password was incorrect.

（プリントサーバ動作時）ファイルサーバにログインできません。ファイルサーバ上にプリントサーバが登録されているか確認してください。プリントサーバにパスワードを設定している場合はパスワードを削除してください。

account is unavailable: same account name be used.

一般ユーザーアカウント名と管理者アカウント名が重複しているため、一般ユーザーアカウント名が無効になりました。どちらかのアカウント名を別のものにしてください

account is unavailable: The authentication password is not set up.

認証パスワードが設定されてなく、暗号パスワードのみ設定されているため、アカウントが無効になりました。暗号パスワードを削除するか、認証パスワードを入力してください。

account is unavailable: encryption is impossible.

暗号化できないため、アカウントが無効になりました。

add_sess_IPv4:bad trap addr:<IPv4 **アドレス** >, community:< **コミュニティ名** >

コミュニティのアクセスタイプが Trap の場合、IPv4 のアドレス 0.0.0.0 は無効です。Trap 送信先ホストの IPv4 アドレスを指定して下さい。

add_sess_IPv6:bad trap addr:<IPv6 **アドレス** >, community:< **コミュニティ名** >

コミュニティのアクセスタイプが Trap の場合、IPv6 のアドレス [: :] は無効です。Trap 送信先ホストの IPv6 アドレスを指定して下さい。

add_sess_IPv4: community < **コミュニティ名** > already defined.

コミュニティ名が重複しています。他のコミュニティ名と重複しない名前を設定して下さい。

add_sess_IPv6: community < **コミュニティ名** > already defined.

コミュニティ名が重複しています。他のコミュニティ名と重複しない名前を設定して下さい。

add_sess_IPX: bad trap addr: <IPX **アドレス** >, community:< **コミュニティ名** >

コミュニティのアクセスタイプが Trap の場合、IPX アドレス 00:00:00:00:00:00 は無効です。Trap 送信先ホストの IPX アドレスを指定して下さい。

add_sess_IPX: community < **コミュニティ名** > already defined.

コミュニティ名が重複しています。他のコミュニティ名と重複しないコミュニティ名を設定して下さい。

Attach FileServer=< **ファイルサーバ名** >

ニアレストサーバとしてファイルサーバに接続しました。

Attach to print queue < **プリントキュー名** >

プリントサーバ動作時にプリントキューに接続しました。

authenticated

認証に成功しました。

authenticating

アクセスポイントとの認証処理 (EAP もしくは WPA) を行っているところです。

Authentication mode mismatch

アクセスポイントの認証モードが、利用したいものと違います。設定を確認してください。

btd is disabled.

セキュリティモード設定で btd が無効です。セキュリティモード設定の btd を使用可にしてください。

centrod is disabled.

セキュリティモード設定で centrod（パラレル）が無効です。セキュリティモード設定の centrod（パラレル）を使用可にしてください。

client EAP method rejected

RADIUS サーバが、本機によって選択された EAP メソッドを拒絶しました。

Client password rejected

パスワードが拒否されました。パスワードを確認してください。

Client TLS certificate rejected

TLS において、証明書が拒否されました。証明書を確認してください。

Cannot create service connection

（リモートプリンタ起動時）ファイルサーバとコネクションを確立できません。ファイルサーバのユーザ制限を越えている場合があります。

Cannot find rprinter（< **プリントサーバ名** >/< **プリンタ番号** >）

（リモートプリンタ起動時）プリントサーバ上にプリンタ番号のプリンターがありません。プリントサーバに登録されているプリンターのプリンタ番号を確認してください。

Change IP adress from DHCP Server.

DHCP サーバからの IPv4 アドレスのリース更新時に、本機が使用していた IPv4 アドレスが変更されました。DHCPCD を終了します。毎回同じ IPv4 アドレスが割り当てられるように、DHCP サーバを設定してください。

child process exec error!（プロセス名）

ネットワーク関連の起動に失敗しました。電源再投入しても回復しない場合は、サービス実施店に連絡してください。

Connected DHCP Server（<DHCP サーバアドレス >）.

DHCP サーバからの IPv4 アドレス取得に成功しました。

connecting

アクセスポイントとの無線接続をしようとしているところです。

Could not attach to FileServer < エラー番号 >

（リモートプリンタ起動時）ファイルサーバに接続できません。ファイルサーバの設定を確認してください。

Could not attach to PServer < プリントサーバ名 >

（リモートプリンタ起動時）プリントサーバに接続できません。プリントサーバの設定を確認してください。

Current Interface Speed : < EhternetI/F 速度 >

現在の Ethernet I/F の速度です。（10Mbps、100Mbps、または 1Gbps）。

Current IP address <IP アドレス >.

現在の IPv4 アドレスです。

Current IPX address <IPX アドレス >

現在の IPX アドレスです。

DHCP lease time expired.

DHCP リース切れになりました。DHCP Discover を再び行います。なお、使用していた IPv4 アドレスが使用できなくなります。

DHCP server not found.

DHCP サーバが見つかりませんでした。ネットワーク上に DHCP サーバが起動していることを確認してください。

dhcpcd start.

dhcpcd（DHCP クライアントサーバ）を起動しました。

disconnected

接続されていない状態です。

dpsd is disabled.

セキュリティモード設定で PictBridge が無効です。PictBridge は使用できません。セキュリティモード設定の PictBridge を使用可にしてください。

Duplicate IP=< IP アドレス >（from < MAC アドレス >）.

本機に設定された IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレスが重複しています。IP アドレスはそれぞれ固有でなければなりません。表示された MAC アドレスの機器をチェックしてください。IPv6 では、重複した Mac アドレスは表示されません。

Established SPX Connection with PServer,（RPSocket=< ソケット番号 >, connID=< コネクション ID>）

（リモートプリンタ起動時）プリントサーバと接続しました。

exiting

lpd のサービスを終了しています。

Exit pserver

（プリントサーバ動作時）必要な設定がされていないため、プリントサーバを終了しました。

Frametype=< **フレームタイプ名** >

NetWare で使用するフレームタイプ名を設定しました。

httpd start.

httpd が起動しました。
IEEE 802.11b の通信モードを表示します。

inetd start.

inetd を開始します。

Interface(**インターフェース名**)：Duplicate IP Address(< IP **アドレス** >).

本体に指定された IP アドレス（IPv4、または IPv6 アドレス）が重複して使用されています。IP アドレスはそれぞれ固有のものでなければなりません。表示された IP アドレスの機器をチェックしてください。

6

< Interface > started with IP: < IP **アドレス** >

インターフェースに IP アドレス (IPv4 アドレス、または IPv6 アドレス) が設定されて、動作を開始しました。

< Interface >: Subnet overlap.

< Interface > に設定しようとした IPv4 アドレスと Netmask から導かれる Subnet 範囲が、ほかのインターフェースの Subnet 範囲と重なっています。各インターフェースの Subnet 範囲が重ならないように設定してください。

IPP cancel-job: permission denied.

ジョブのキャンセル時にユーザ名による認証に失敗しました。

IPP job canceled. jobid=%d.

エラーあるいはユーザ要求により、スプールされたジョブがキャンセルされました。

LEAP challenge to access point failed

アクセスポイントへの LEAP 方式を使った認証に失敗しました。

LeaseTime=< **リース時間** >(sec), RenewTime=< **更新間隔** >(sec).

DHCP サーバから取得した IPv4 アドレスのリース時間は < リース時間 > 秒、更新時間は < 更新間隔 > 秒で表示されます。

Login to fileserver < **ファイルサーバ名** >（< IPX|IPv4|IPv6>,< NDS|BINDERY>）

（プリントサーバ動作時）ファイルサーバに NDS または BINDERY モードでログインしました。使用しているトランスポートプロトコルも表示されます。

Memory allocate error.

メモリ取得に失敗しました。ケーブルの抜き差しを行ってください。

MIC failure TKIP counter measures started

TKIP を用いているサプリカントが、60 秒以内に 2 箇所のデータ改ざんを見つけ、その対策を開始しました。

MIC failure TKIP counter measures stopped

TKIP を用いているサプリカントが、データ改ざんが見つかり対策を開始して 60 秒経ち、その対策を止めました。

Name registration success. WINS Server = < WINS **サーバアドレス** > NetBIOS Name = < NetBIOS **名** >

WINS サーバアドレスへの NetBIOS 名の登録が成功しました。

Name registration success in Broadcast name= < NetBIOS **名** >

ブロードキャストによる NetBIOS 名の登録が成功しました。

Name registration failed. name= < NetBIOS **名** >

NetBIOS 名の登録に失敗しました。NetBIOS 名を別の名前に変更してください。

nbtd start.

nbtd(NetBIOS over TCP/IP Daemon) を起動しました。

no RADIUS/authentication server

利用可能な RADIUS サーバがないというメッセージを受信しました。

no smart card detected on device

PEAP/GTC が選択されましたが、GTC（Generic Token Card）認証の間、スマートカードが見つかりませんでした。

nprinter start. (NetWare)

（リモートプリンタ動作時）NetWare サービスをリモートプリンタモードで起動しました。

nwstart start. (NetWare)

NetWare プロトコルスタック設定サーバが起動しました。

Open log file < **ファイル名** >

（プリントサーバ動作時）監視ログファイルを開きました。

phy release file open failed.

ネットワークボードに異常が発生している可能性があります。

Print queue < **プリントキュー名** > cannot be serviced by printer 0, < **プリントサーバ名** >

（プリントサーバ動作時）プリントキューを確認できません。プリントキューのボリュームが設定したファイルサーバ上に存在するか確認してください。

Print server < **プリントサーバ名** > has no printer

（プリントサーバ動作時）プリントサーバにプリンタが割り当てられていません。NetWareアドミニストレータで割り当て後、プリンタを再起動してください。

print sessions full

印刷要求が最大セッション数に達しています。しばらくしてから再接続してください。

Printer < **プリンタ名** > has no queue

（プリントサーバ動作時）プリンタにプリントキューが割り当てられていません。NetWare アドミニストレータで割り当て後、プリンターを再起動してください。

6

pserver start. (NetWare)

（プリントサーバ動作時）NetWare サービスをプリントサーバモードで起動しました。

Required file server（< ファイルサーバ名 >）not found

設定されたファイルサーバが見つかりませんでした。

restarted.

lpd のサービスを開始しました。

sap enable, saptype=< SAP タイプ >, sapname=<SAP 名 >

SAP 機能が起動しました。SAP（SAP タイプ、SAP 名）パケットを発行し、NetWare サーバ上の SAP テーブルにサービスの存在を登録します。

server certificate invalid

サーバ証明書が無効であることを検知しました。

server identity invalid

サーバ ID が無効です。サーバ認証設定を確認してください。

server not trusted

RADIUS サーバーは信用できないので、接続しませんでした。

session_IPv4 < コミュニティ名 > not defined.

認証不可のコミュニティ名で、設定要求を受けました。

session_IPv6 < コミュニティ名 > not defined.

認証不可のコミュニティ名で、設定要求を受けました。

session_IPX < コミュニティ名 > not defined.

認証不可のコミュニティ名で、設定要求を受けました。

Set context to <NDS コンテキスト名 >

NDS コンテキストを設定しました。

smbd start. (NetBIOS)

smbd(Sever Message Block Daemon) が起動しました。

SMTPC: failed to get smtp server ip-address.

SMTP サーバーの IP アドレスを取得できません。DNS サーバーを探せないか、DNS サーバに指定した SMTP サーバの IP アドレスがありません。DNS サーバーの IP アドレスを確認してください。または SMTP サーバの IP アドレスを確認してください。

SMTPC: failed to connect smtp server. timeout.

応答待ちでタイムアウトしたため、SMTP サーバーに接続できません。SMTP サーバー名が間違っている、ネットワークに接続されていない、またはネットワークの設定が間違っており、SMTP サーバーからの応答を取得できません。SMTP サーバ名を確認してください。またはネットワークの接続と設定を確認してください。

SMTPC: refused connect by smtp server.

SMTP サーバーに接続できません。SMTP サーバーではないサーバーを指定したか、SMTP サーバーのポート番号が間違っています。SMTP サーバ名、SMTP ポート番号、または SMTP サーバの SMTP ポート番号を確認してください。

SMTPC: no smtp server. connection close.

SMTP プロトコルの応答が返ってこないため、SMTP サーバーに接続できません。SMTP サーバーではないサーバーを指定したか、SMTP サーバーのポート番号が間違っています。SMTP サーバ名、SMTP ポート番号、または SMTP サーバの SMTP ポート番号を確認してください。

SMTPC: failed to connect smtp server.

SMTP サーバーに接続できません。ネットワークに接続されていない、ネットワークの設定が間違っている、SMTP サーバーからの応答を取得できない、SMTP サーバー名が間違っている、DNS サーバーの指定が間違っている、DNS サーバーに指定された SMTP サーバーの IP アドレスがない、SMTP サーバーではないサーバーを指定した、または SMTP サーバーのポート番号が間違っています。DNS サーバーの IP アドレスと SMTP サーバの IP アドレス、SMTP サーバ名と SMTP ポート番号、SMTP サーバの SMTP ポート番号、ネットワークの接続と設定を確認してください。

SMTPC: username or password wasn't correct. **［応答コード］（インフォメーション）**

SMTP サーバーに認証接続できません。SMTP ユーザー名の指定が間違っているか、SMTP パスワードの指定が間違っています。SMTP ユーザー名、SMTP パスワードを確認してください。

Snmp over IPv4 is ready.

IPv4 上での SNMP 通信が可能です。

Snmp over IPv6 is ready.

IPv6 上での SNMP 通信が可能です。

Snmp over IPX is ready.

IPX 上での SNMP 通信が可能です。

trap account is unavailable.

Trap 送信先アカウント名が、機器が管理するアカウント名とは別のものが指定されているため、そのアカウントでは v3Trap は送信されません。送信先アカウント名を機器が管理するアカウント名に変更してください。

snmpd start.

Snmpd を開始しました（電源 ON ／ OFF のみ表示します）。

started.

ダイレクトプリントサービスを開始しました。

started.

BMLinkS が起動しました。

Started.

Bonjour（Rendezvous）機能が起動しました。

success but invalid key

EAP が成功したというメッセージを受け取ったが、EAPOL キーが無効です。

success key received

EAP-Success キーを受け取りました。

terminate.

BMLinks 無効のため終了しました。

Terminated.

Bonjour（Rendezvous）機能が終了しました。

The print server received error < **エラー番号** > during attempt to log in to the network. Access to the network was denied. Verify that the print server name and password are correct.

（プリントサーバ動作時）ファイルサーバへのログインに失敗しました。プリントサーバが登録されていないか、パスワードが与えられています。プリントサーバをパスワードなしで登録してください。

too many pictures.

1 回の印刷で指定する画像が多すぎるため、正常に印刷できませんでした。指定画像数を減らして印刷してください。

unauthenticated

本機がアクセスポイントから拒絶されたか、認証されていません。

usbd is disable

セキュリティモードの設定で usbd が使用不可です。セキュリティモード設定の usbd を使用可にしてください。

waiting for keys

セッションキーを待っています。

WINS name registration: No response to server(WINS **サーバアドレス**)

登録処理に対する応答がサーバからありません。WINS サーバアドレスを確認してください。または、WINS サーバが正常に作動しているか確認してください。

WINS wrong scopeID=< **スコープ** ID>

不正なスコープ ID が使用されています。正常なスコープ ID を設定して下さい。

参照

・P.11 「お使いになる前に」
・P.281 「本機の状態表示」